

平成 24 年 度

東京芸術大学学生募集要項

(音楽学部・別科)

※本学所定の「入学願書等提出書類」は別冊

平成 23 年 12 月

東 京 芸 術 大 学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

音楽学部教務係 TEL 050 (5525) 2309

24

受験上の注意事項

1. 試験日程（集合時刻・試験時刻）及び合格者受験番号等試験に関する諸事項は、音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。
 - (1) 本募集要項中の「入学試験実施日程表」に書かれている合格者発表日及び日程等掲示日には、受験者自身が必ず掲示又は本学ホームページで確認してください。（過去に掲示の見落としや誤認のため受験できなかった者がいたので、特に注意してください。）なお、学部第1回試験日程は、平成24年2月24日(金)、別科試験日程は、平成24年3月6日(火)いずれも16時以降に掲示及び本学ホームページで発表します。
 - (2) 掲示記載の番号は、本学部受験票の受験番号です。
2. 試験当日は、掲示を見てから定められた集合時刻までに集合場所に入り、以後はすべて係員の指示に従ってください。（受験者以外の入構は、認めません。）
 - (1) 本学部受験票と大学入試センター試験受験票（私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）を常に携帯し、正門出入りの際は、守衛所の係員に提示してください。（受験票を忘れたり紛失した場合は、係員に申し出てください。）
 - (2) 実技試験において集合時刻に遅れた者に対しては、受験を許可しません。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに入試事務室に申し出てください。
 - (3) 音出し室以外（集合場所、控室、廊下等）での発声または楽器の練習を禁止します。
 - (4) 音出し室にあるピアノの使用は、禁止します。
 - (5) 実技試験における受験の順序は、係員の指示に従ってください。
 - (6) 筆記試験において下敷は、使用できません。時計は、計時機能だけのものに限り使用できます。
 - (7) 携帯電話・PHS等は、試験室に入る前に電源を切ってかばん等に入れておいてください。
 - (8) 試験の内容に関する質問には、一切答えません。
 - (9) 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、近くにいる係員に申し出てください。
 - (10) 本学部構内に忘れ物をした場合は、1週間以内に本学部教務係に申し出てください。
3. 試験場等の下見は、一切認めません。
4. 試験に関する電話による問い合わせには、原則応じません。
5. 本学に駐車場はありません。
6. 毎年、入試の時期になると、本学及び駅の近辺で、本学関係者であるような印象を与えて可否電報を取扱う者がいますが、本学とは一切関係ありませんので注意してください。また、本学は大学外において直接受験生に対して、住所その他の連絡先等を問い求めることは一切ないので、あわせて注意してください。

以 上

目 次

I 音楽学部

○ 音楽学部アドミッション・ポリシー	1
1. 募集人員	2
2. 出願資格	3
3. 選抜方法	3
4. 私費外国人留学生	4
5. 出願手続	5
6. 試験科目一覧	11
7. 試験日程・試験場	11
8. 合否判定基準及び入学者選抜試験個人成績の開示について	12
9. 試験内容及び試験曲等	
ア. 専攻実技等	13
イ. 音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等	40
ウ. 面接	49
エ. その他	49
10. 合格者発表	49
11. 入学手続等について	50
12. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について	51
13. 入学手続に係る郵送による受付の開始について	51

II 別科

出願手続・試験曲等	53
-----------------	----

III 平成24年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（別表1） ..	65
--	----

IV 平成24年度音楽学部・別科入学試験実施日程表（別表2）	66
--------------------------------------	----

V 個人情報の取扱いについて	67
----------------------	----

I 音楽学部

○ 音楽学部アドミッション・ポリシー

音楽学部は、音楽についての深い学識と高い技術を授け、音楽の各分野における創造、表現、研究に必要な優れた能力を養い、社会的要請に応える人材の育成を目指しています。

この教育理念に基づき、本学部からは、百年以上に亘り世界的な音楽家や広く社会の文化発展に寄与した多くの人材を輩出してきました。

こうした伝統と遺産を継承しつつ、新たな歴史を刻み込む強い意志と意欲を持った方を求めています。

具体的に本学部各科が求める学生像は次のとおりです。

○作曲科

優れた音楽的能力のみならず、伝統的な語法に関する確かな素養を身につけ、且つ自発性、創造性を有する人材

○声楽科

優れた声楽家になる可能性を持ち、智と人間性に優れた人材

○器楽科 ピアノ

優れたピアノ演奏技術と芸術的感性のみならず、音楽全般に対して幅広い関心を持っている人材

○器楽科 オルガン

確かな目的意識と意欲を持ち自分の才能をのばす熱意と忍耐力を持ち、音楽とオルガンに喜びを持って取り組む人材

○器楽科 弦楽

優れた基礎能力のみならず音楽表現に対する積極性を兼ね備えている人材

○器楽科 管打楽

演奏家として、人間と音楽に閃きを感じ持っている人材

○器楽科 古楽

専攻する楽器の構造と歴史に深い関心を持ち、喜びと熱意を持って演奏表現に取り組む将来性ある人材

○指揮科

優れたソルフェージュ力や豊かで説得力に富んだ音楽性を持ち、音楽的、芸術的に優れたリーダーシップを兼ね備えた人材

○邦楽科

専攻分野のみならず専攻以外の音楽にも幅広く研究を重ね、技術・人格共に優れた演奏家となるべく努力する人材

○楽理科

音楽に感動する心、音楽の豊かさを聴き取る力、何らかのかたちで音楽実践に携わることのできる能力、研究に必要な言語能力を持ち、創造性と批判精神に富み、学問・文化・社会一般にも幅広い関心を抱いている人材

○音楽環境創造科

従来の枠をこえた観点で音楽芸術の創造をめざし、音楽・文化・社会の関わりについて強い関心を持ち、音楽を中心とした新しい文化環境創造を志す人材

1. 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
作 曲 科	15
声 楽 科	54
器 楽 科	98
指 揮 科	2
邦 楽 科	25
楽 理 科	23
音楽環境創造科	20
合 計	237

※ 本学部は、前期日程のみの募集です。

※ 音楽環境創造科の授業は、主に千住校地（東京都足立区）で行います。

[千住校地所在地]

〒120-0034 東京都足立区千住 1-25-1

[交通機関]

(J R) 北千住駅下車徒歩 5 分

(地 下 鉄) 千代田線・日比谷線北千住駅下車
徒歩 5 分

(東武鉄道) 東武伊勢崎線北千住駅下車徒歩 5 分

(首都圏新都市鉄道) つくばエクスプレス北千
住駅下車徒歩 5 分

※ 音楽環境創造科の入学者選抜試験は、他の
学科と同様、上野校地（東京都台東区）（裏表
紙参照）で行います。

(注)1. 音楽学部への出願は、志願する科 1 つに限ります。

① 声楽科志願者は、次の中から 1 声種を選択し、出願してください。

ソプラノ・アルト（メゾソプラノを含む）・テノール・バス（バリトンを含む）

② 弦楽器、管打楽器及び古楽志願者は、次の楽器の中から 1 種を選択し、出願してください。

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トラ
ンペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チュー
バ、打楽器

(古楽) チェンバロ、バロックヴァイオリン、リコーダー

③ 邦楽科志願者は、次の中から 1 種を選択し、出願してください。

長唄三味線、常磐津三味線、清元三味線、長唄、常磐津、清元、邦楽囃子、日本舞踊、箏曲
(山田流)、箏曲(生田流)、尺八(琴古流)、尺八(都山流)、能楽(観世流)、能楽(宝生流)、
能楽(下掛宝生流)、能楽(狂言)、能楽囃子、雅楽(笙)、雅楽(篳篥)、雅楽(龍笛)

2. 音楽学部と別科の併願受験について

音楽学部と別科の併願受験については、以下のとおり取り扱います。

① 併願を認める学科・専攻

音楽学部声楽科・器楽科（管打楽器）及び邦楽科の各志願者にあつては、それぞれ別科の声楽
専修・器楽（管打楽器）専修及び邦楽専修と併願受験できます。

② 併願を禁止する学科・専攻

音楽学部器楽科（ピアノ、オルガン、弦楽器、古楽）の各志願者は、それぞれ別科の各専修と
併願受験することはできません。これらについては、志願する音楽学部の学科・専攻と別科の専
修が異なる場合でも併願受験はできません。

2. 出願資格

本学部に出願できる者は、次のいずれかに該当し、本学部の指定する平成24年度大学入試センター試験の教科・科目のすべてを受験した者としします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までに、これに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
 - ウ 専修学校の高等課程（修学年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成24年3月31日までに合格見込みの者で、18歳に達したもの
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（補足）出願資格(3)カにより出願を希望する者には、個別の入学資格審査を行うので、事前に本学事務局学生支援課（TEL 050-5525-2075）に申し出て相談（提出締切期限の1ヶ月以上前が望ましい。）のうえ申請書類を受け取り、本学が指定した書類等を下記の提出締切期限までに提出してください。提出締切期限は、①大学入試センター試験に出願する以前から本学に出願することを希望する場合は、平成23年9月2日（金）までとし、②大学入試センター試験に出願後、志望大学を変更して本学に出願することを希望する場合は、平成24年1月6日（金）までとします。

- （注）1. 本学部（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の本学美術学部及び他の大学・学部に出願できませんが、「後期日程」の他の大学・学部には出願できます。
2. 他の国公立大学の推薦入学の合格者及びAO入試に合格し入学手続きを完了した者は、本学部の入学試験を受験しても合格者とはなりません。ただし、当該大学の推薦入学の辞退を許可された者及びAO入試の入学辞退届を提出した者は除きます。
 3. 本学部に合格し、平成24年3月15日までに入学手続きを行った者は、「後期日程」の試験を受験しても、その合格者とはならないので注意してください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、専攻実技等・音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等・面接（作曲科、邦楽科及び音楽環境創造科の志願者のみ）及び出身学校長から提出された調査書並びに大学入試センター試験の成績の各資料を総合して判定します。

1. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

本学部においては、大学入試センター試験について別表1のとおり受験を要する教科・科目を指定しているのでまちがいのないように注意してください。願書受理後であっても、本学部の指定した教科・科目を受験していないことが明らかになった場合は失格とします。

2. 私費外国人留学生

本学部が実施する個別試験及び提出された書類並びに「日本留学試験」の成績の各資料を総合して判定します。なお、私費外国人留学生には、大学入試センター試験を課しません。（「私費外国人留学生」についての詳細は本頁参照）

3. 特別の選抜方法について

本学部においては、2段階選抜、推薦入学、専門高校・総合学科卒業生選抜、AO入試、帰国子女・社会人のための特別の選抜は行いません。

4. 私費外国人留学生

「私費外国人留学生」とは、外国の国籍を有し、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者で、下記の**出願資格**のいずれかに該当する者をさします。

大学入試センター試験は課ませんが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成23年度「日本留学試験」を本学部が定めた（下記「**「日本留学試験」出題科目等について**」を参照）とおりに受験しなければなりません。募集人員は、入学定員外として若干名です。なお、日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月31日までに卒業見込みの者は、ここでいう「私費外国人留学生」には該当しません。

出願資格

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格及びフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格のいずれかを取得した者及び平成24年3月31日までに取得見込みの者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者
- (3) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるヨーロッパ・カウンスル・オブ・インターナショナル・スクールズの認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者で、平成24年3月31日までに18歳に達する者

「日本留学試験」出題科目等について

「日本語」及び「総合科目」を受験してください。

- (注)1. 日本語科目以外において、日本語及び英語による出題については、いずれを受験してもかまいません。
2. 渡日前の入学許可は行いません。（外国において本学部の入学者選抜は行いません。）
 3. 6月・11月実施のいずれの試験を受験してもかまいません。

「日本留学試験」に関する問い合わせ先

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL 03-6407-7457
ホームページ <http://www.jasso.go.jp>

5. 出願手続

1. 願書受付期間

平成24年1月23日(月)～2月1日(水)

郵送による出願とし、上記の期間内消印有効とします。

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、又は郵便局の消印が上記期間外の場合は受理しないので注意してください。

2. 検定料

1. 金額：17,000円

2. 振込期間：平成24年1月4日(水)～平成24年2月1日(水)

3. 振込方法及び提出書類

下記の(ア)、(イ)のいずれかの方法により振込んでください。

(ア) コンビニエンスストアでのお振込み

- ・7頁の説明を参照の上、振込手続きを行ってください。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る〈取扱明細書兼領収書〉の「収納証明書」の部分を取り取り、「入学試験検定料振込金受付証明提出用紙」に貼付して提出してください。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けません。必ず指定の端末にて手続きを行ってください。

取扱明細書兼領収書

収納
印

収入
印紙

東京芸術大学 収納証明書
検定料収納額 17,000円
氏名：○○○○
電話：***-***-***

⑤

入学試験検定料振込金
受付証明書提出用紙

C票

入学試験検定料
振込金受付証明書

この用紙に収納証明
書を貼り付ける

コンビニエンスストアで振込した際に受け取る〈取扱明細書兼領収書〉の収納証明書の部分を切り取り、⑥「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付する。

(次頁に続く)

(イ) 金融機関窓口でのお振込み

- ・この要項に添付してある「振込依頼書（A・B・C票）」を使用してください。
- ・取扱金融機関は下記の通りです。
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合等
（ゆうちょ銀行（郵便局）、金融公庫では振り込めないのでご注意ください）
- ・振込時には別途手数料が必要です。
（三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料は無料になります）
- ・金融機関ATM（現金自動預け払い機）による振込は受け付けません。
- ・振込後に返却されるB・C票のうち、C票について切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。

⑤ 「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」（金融機関窓口での振込の場合）

A票 振込依頼書 （「東京芸術大学」入学試験検定料）		B票 振込金受取書 （「東京芸術大学」入学試験検定料）		C票 「東京芸術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書	
金融機関取扱期間					
ご依頼日 平成 年 月 日		志望専攻名 電 信 扱		専攻	
三井住友 銀行 東京公務部		金額 ¥17,000		金額 ¥17,000	
普通 151793				氏名	
トウキョウゲイジュンダイカフ					
国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口					
整理番号		収納印		収納印	
志望者氏名		(取扱金融機関保管)		(志願者保管)	
住所・電話番号				(大学提出用)	

入学試験検定料振込金 受付証明書提出用紙	
C票 入学試験検定料 振込金受付証明書	
この用紙にC票を貼り 付ける	

振込をした際、返却されたB・C票のうち、
C票について切り離し、志望学科・氏名を
記入のうえ、⑥の「入学試験検定料振込
金受付証明書提出用紙」に貼付する。

4. その他注意事項

国費外国人留学生は納入不要です。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を提出してください。

5. 返還について

次の(ア)～(ウ)の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。

(ア) 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった（願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった）場合

(イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

(ウ) 受験票発行後、大学入試センター試験において本学部が指定する教科・科目を受験していない等の失格要件が判明し、失格となった場合

返還金額は、(ア)と(イ)については全額とし、(ウ)については13,000円とします。

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りです。

便せん等を使用し、下記の①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「収納証明書」または「C票」を添付して、東京芸術大学会計課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送してください。

①氏名、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義（カタカナ）・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になります。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付してください。

東京芸術大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

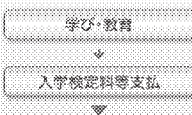
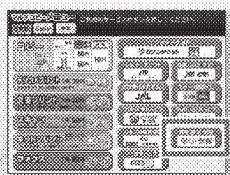
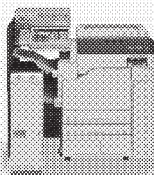
下記のコンビニエンスストアの端末にて払い込みができます。

⑦ セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



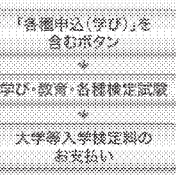
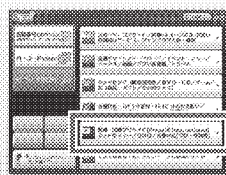
LAWSON



<http://www.lawson.co.jp>

最寄りの「ローソン」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種申込(学び)」よりお申込みください。



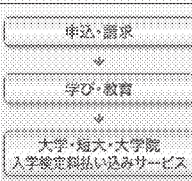
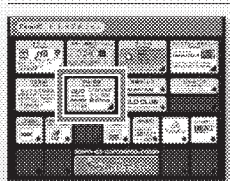
あなたも、コンビニに、
FamilyMart



<http://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。

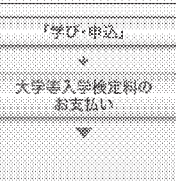
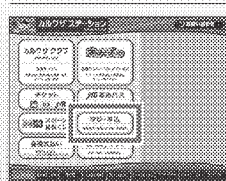
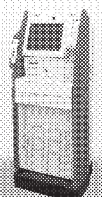


カルワザステーション

<http://www.circleksunkus.jp>

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



お申込みの大学

をクリックし、申込情報を入力して「払込票/申込券/受付票」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

コンビニのレジでお支払いください。

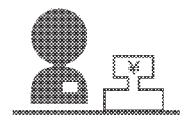
※端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi, Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。

※お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または
「取扱明細書兼領収書」(Loppi, Famiポート)を受け取ってください。

※お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できませんのでご注意ください。
※お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなりますのでご注意ください。
※すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

※全コンビニ共通

払込手数料	入学検定料が3万円未満	420円
	入学検定料が3万円以上	630円



「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、 学生募集要項の指示に従って、所定の欄に貼りつけてください。

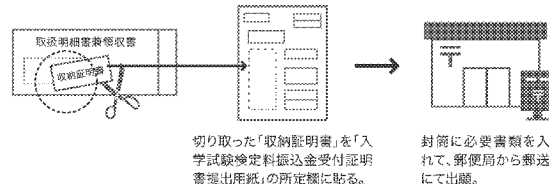
※「取扱明細書兼領収書」について

セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK・サンクスでお支払いの場合

レジにて検定料をお支払い後、「取扱明細書兼領収書」(※1)を忘れずにお受け取りください。

※1: マルチコピー機、カルワザステーションの場合は「取扱明細書」

※貼付する場合、「感熱・感圧紙などを発色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く発色する恐れがあります。



切り取った「収納証明書」を「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」の所定欄に貼る。

封筒に必要書類を入れて、郵便局から郵送にて出願。

■整理番号について

コンビニ払い込みの際に、検定料の振込依頼書に印字されている整理番号(5桁)の入力が必要です。

整理番号メモ

--	--	--	--	--

【入試に関するお問合わせ先】 東京芸術大学

美術学部教務係 TEL 050-5525-2122 / 音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309 / 映像研究科教務係 TEL 050-5525-2671

(受付時間) 月曜～金曜 9:00～12:30 13:30～16:30 ※土曜・日曜・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <http://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

3. 提出書類

志願者は、下記①～⑯までの該当する書類を本学部所定の入学願書送付用封筒を使用して、「書留速達郵便」扱いで郵送してください。

ただし、⑯伴奏楽譜（声楽科志願者）については、本学部所定の伴奏楽譜送付用封筒を使用して、「書留速達郵便」扱いとし入学願書と同時郵送してください。

(注)1. 書留郵便1通には1人分の書類のみをまとめ、出願者数名分の一括郵送はしないでください。

2. 声楽科志願者は、伴奏楽譜の中に、願書等（①～⑨、⑪～⑯）を絶対に同封しないでください。同封した場合には、受験できないことがあります。（9頁参照）

書 類	様 式 等	注 意 事 項
① 入 学 願 書	本学部所定の様式	○ 願書に記入する氏名は、必ず戸籍簿のそれと同一文字でなければなりません。このことは、他の提出書類についても同様です。 ○ 指導教師名の申告欄には、<u>中学校入学以降受験までの間に</u>、受験志望の専攻実技科目及びソルフェージュについて指導を受けた教師の氏名及びその期間について記入してください。（別科志願者は記入不要。）正確に記憶していない場合は概略でもかまいません。なお、一度でも指導を受けた場合は記入してください。 ○ 記入は、楷書及び算用数字で黒又は青のインクかボールペンではっきりと解るように明記してください。（以下同じ）
② 写 真 票	本学部所定の様式	○ 写真は^(たて)4 cm×^(よこ)3 cmのサイズで、明らかに志願者本人であることが認められる単身、脱帽、上半身、正面向で出願前3か月以内に撮影したもの（スナップ写真は不可）を写真票の所定の欄に貼ってください。 ○ 写真裏面に受験志望学科及び氏名を記入してください。
③ 大学入試センター試験 前期日程用 成績請求票	大学入試センター所定のものを本学部所定の様式に貼る	平成24年度大学入試センター試験の 前 平成 24 センター試験成績請求票 国 公 立 前 期 日 程 用 を所定の欄に貼ってください。 なお、紛失等により成績請求票の再交付を受けた場合は、再交付後のものを貼ってください。
④ 受 験 票 〔裏面は返信 用はがき〕	本学部所定の様式	受験票裏面は、「返信用郵便はがき」となっているので、志願者自身が、自己の郵便番号・住所・氏名を明記し、50円切手（速達の場合は320円切手）を貼ってください。なお、遠隔地の場合は、速達扱いにすることが望ましいです。
⑤ 入 学 試 験 検定料振込 金受付証明書 又は収納証 明 書 (C 票)	本学部所定の様式	検定料17,000円（別科は9,800円）を銀行振込またはコンビニエンスストアにより納入したのち、振込先から受領する本紙を、「⑥入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙〈学部用〉」又は「別科用」に糊付添付し、提出してください。
⑥ 入 学 試 験 検定料振込 金受付証明書 及び収納証 明書提出 用 紙 〈学部用〉	本学部所定の様式	「⑤入学試験検定料振込金受付証明書（C票）」もしくは「収納証明書」（検定料納入済のもの）を本紙に糊付添付したものを提出してください。

（次頁に続く）

書 類	様 式 等	注 意 事 項
⑦ 調 査 書	出身学校長 が作成し厳 封したもの	○ 高等学校もしくは中等教育学校卒業者及び卒業見込者 出身学校長が作成した調査書 ※ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により 出身学校から調査書が得られない場合は、下記の書類を全て提出して ください。 ・卒業証明書 ・成績証明書 ・出身学校長からの「調査書を発行できない旨の文書」 【注1】成績証明書が発行できない場合には、それに代わる書類 または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨 の文書」を提出してください。 【注2】廃校等により出身学校長の証明が得られない場合には、 出身学校を所管する教育委員会または知事が作成した上 記の書類を提出してください。
⑧ 入学手続書 類送付用宛 名ラベル シール	本学部所定 の様式	平成24年3月13日（火）入学手続書類を取りに来ない場合に、最終合格者へ の書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内 に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）を記入するこ と。
⑨ 声 楽 科 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定の様式 〔 声 楽 科 〕 〔 志 願 者 〕	所定の用紙に記入してください。
⑩ 伴 奏 楽 譜	本学部所定 の様式 〔 声 楽 科 〕 〔 志 願 者 〕	○ 声楽科伴奏楽譜送付用封筒を使用して、書留速達扱いで願書と別便で、同 時郵送してください。この封筒内には、提出楽譜以外の願書等を絶対に同封 しないでください。同封した場合には、受験できないことがあります。 ○ 伴奏楽譜の作成にあたっては、「声楽科志願者に対する注意事項」（16頁） に従ってください。 ○ 別科（声楽専修）を併願する者は、任意の封筒を使用して、別途伴奏楽譜 を郵送してください。
⑪ ピ ア ノ 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔 ピ ア ノ 〕 〔 志 願 者 〕	所定の用紙に記入してください。
⑫ 古 楽 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔 古 楽 〕 〔 志 願 者 〕	所定の用紙に記入してください。
⑬ 邦 楽 科 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔 邦 楽 科 〕 〔 志 願 者 〕	所定の用紙に記入してください。
⑭ 副科ピアノ 受 験 曲 目 提 出 用 紙	本学部所定 の様式 〔 副科ピアノ 〕 〔 受験対象者 〕	所定の用紙に記入してください。

（次頁に続く）

書 類	様 式 等	注 意 事 項
⑮ 音 楽 環 境 創 造 科 志 望 理 由 書	本学部所定 の様式 〔音楽環境 創造科 志 願 者〕	所定の用紙に記入してください。
⑯ そ の 他		平成23年度「日本留学試験」の受験者は、独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課〔〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 電話 03-6407-7457〕が発行する成績通知書を提出してください。

(注) 1. 本学部（前期日程）に出願する者は、「前期日程」の本学美術学部及び他の大学・学部に出願できませんが、「後期日程」の他大学・学部には出願できます。

2. 願書受理後は、いかなる事情があっても科目・選択科目等の変更は一切認めません。

4. 受験票

提出書類①～⑯までを完全に整えて提出した者に対して受験票を送付します。

(注) 1. 邦楽の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、尺八（琴古流）・尺八（都山流）は尺八として、通し番号で受験番号をふります。

2. 受験票が2月17日までに到着しないときは、音楽学部教務係へ連絡のうえ、2月22日までに書留郵便受領書をもって申し出てください。〔音楽学部教務係 電話 050-5525-2309〕

5. 障害のある入学志願者の事前相談

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者は、事前に連絡し、平成24年1月13日(金)までに申請書に医師の診断書を添え、音楽学部教務係に相談してください。その結果必要な場合には、志願者又は出身高等学校関係者等との面談を行います。また、期限後に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった入学志願者も、すみやかに音楽学部教務係に連絡してください。なお、申請書に記載する事項は、次のとおりとします。

- ①志望の学科・専攻 ②障害の種類・程度 ③受験上の特別な措置を希望する事項
④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項

6. 試験科目一覧

学 科 等	試験科目	専 攻 実 技 等 (13頁～39頁に記載)	音楽に関する基礎能力検査 (40頁～46頁に記載)					副科実技等 (47頁～48頁に記載)				面 接 (49頁に記載)
			聴 音 書 き 取 り	楽 典	新 曲 視 唱	音 符 の 音 読	リ ズ ム 課 題	副 科 ピ ア ノ	副 科 ピ ア ノ 以 外 の 副 科 実 技	ピ ア ノ 新 曲	和 声	
作	曲	科	○	○	○	○	○	○		○		○
声	楽	科	○	○	○	※	※	※	○			
器 楽 科	ピ	ア	ノ	○	○	○	○	○				
	オ	ル	ガ	ン	○	○	○	○	○			
	弦	楽	器	○	○	○	○	○	○			
	管	打	楽	器	○	○	○	○	○			
	古	楽	○	○	○	○	○	○				
指	揮	科	○		○			○			○	
邦	楽	科	○		○							○
楽	理	科	△	○	○	○	○	○			○	
音	楽	環	境	創	造	科	□					○

自己表現を含む(39頁参照)←

- (注)1. 表中、楽理科の専攻試験(△印)は、学科試験(国語、外国語)、小論文(含・口述試問)として大学入試センター試験とは別に行います。
2. 表中、音楽環境創造科の専攻試験(□印)は、学力検査(音楽)、小論文とします。
3. 楽理科志願者が副科ピアノ以外の副科実技を選択した場合は、副科ピアノを受験する必要はありません。
4. 表中、声楽科の「新曲視唱・音符の音読・リズム課題」(※印)は、第3回専攻実技試験として行います。(13頁参照のこと)
5. 課せられた試験を1つでも受験しなかった者は、失格(不合格)となります。
6. 試験日時・試験曲等をまちがえた場合は、失格(不合格)となります。

7. 試験日程・試験場

1. 試験日程

各学科の試験は、入学試験実施日程表(別表2)のとおり実施します。

なお、第1回試験の日程等に関しては、音楽学部構内に掲示及びホームページで発表します。

本学ホームページ(<http://www.geidai.ac.jp/index.html>)では、掲示発表の1時間後に日程及び注意事項等を掲載する予定です。

※本学では、追試験は実施しません。

2. 試験場

試験は全学科、東京芸術大学音楽学部(東京都台東区上野公園12-8)において実施します。

(試験場案内図は裏表紙を参照してください。)

8. 合否判定基準及び入学者選抜試験個人成績の開示について

1. 合否判定基準

〔作曲科，邦楽科〕

専攻実技を重視します。音楽に関する基礎能力検査，副科実技等，面接及び大学入試センター試験結果は総合判定に用います。

〔声楽科，器楽科，指揮科〕

専攻実技を重視します。音楽に関する基礎能力検査，副科実技等及び大学入試センター試験結果は，総合判定に用います。

〔楽理科〕

本学部個別学力検査（国語・外国語），小論文（含・口述試問），音楽に関する基礎能力検査，副科実技等及び大学入試センター試験結果を総合して判定します。

〔音楽環境創造科〕

大学入試センター試験成績は，1次判定に用います。大学入試センター試験成績及び個別試験の成績を総合して判定します。志望理由書は，面接時の参考とします。

2. 入学者選抜試験個人成績の開示について

平成24年度一般選抜入学試験の個人成績を本人に限って開示します。（合格者は除きます。）希望者は，次の方法により申し込んでください。

(1) 申込者

受験者本人に限ります。（代理人による申し込みは認めません。）

(2) 申込期間

○受験者本人が来学する場合

平成24年6月1日から6月29日（土，日曜日及び祝日は除きます。）

9：00～16：30（12：30～13：30は除きます。）

○郵便で開示願いをする場合

平成24年6月1日から6月30日の消印のみ受け付けます。

(3) 申込方法

○受験者本人が来学する場合

募集要項巻末の「個人成績請求申込書」すべてに受験者本人が記入し，本学受験票（コピーは不可），返信用封筒（長形3号 [12cm×23.5cm] 封筒に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を記入し，380円切手を貼付したもの）の3点を持参のうえ来学し，音楽学部教務係で申し込んでください。（後日「簡易書留郵便」で送付します。）

○郵便で開示願いをする場合

居住地が遠隔地である等の理由で来学できない場合は，郵便での請求を受け付けます。

募集要項巻末の「個人成績請求申込書」すべてに受験者本人が記入のうえ，本学受験票（コピーは不可），返信用封筒（長形3号封筒に受験者本人の郵便番号，住所，氏名を記入し，380円切手を貼付したもの）の3点を東京芸術大学音楽学部教務係宛に簡易書留で郵送してください。（到着後，「簡易書留郵便」で送付します。）

(4) 開示内容

① 試験成績【得点】

大学入試センター試験の成績を科目ごとに開示します。

② 試験成績【順位】

第一次試験，第二次試験，第三次試験（作曲），及び最終試験の各合否判定に用いた順位を開示します。

ただし，各楽器等種類ごとの各合格者数が，少数（10人程度以下）の場合は開示しません。

③ 最終次試験不合格者には，総合判定に影響のあった試験科目が特定できる場合に，その科目名を開示します。

④ 調査書（「指導上参考となる諸事項」，「備考」欄は除きます。）

(5) 問い合わせ先

東京芸術大学音楽学部教務係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 電話050-5525-2309

9. 試験内容及び試験曲等

ア. 専攻実技等

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
作曲		第1回	与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作る。(各3時間)
		第2回	与えられた主題により、対位法的楽曲を作る。(5時間)
		第3回	与えられた動機あるいは詩により楽曲を完成する。なお、楽器編成は下記から試験当日指定する。 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ピアノ、独唱、合唱 (8時間。ただし、途中昼食休憩の1時間を別に設ける。)
楽声	ソプラノ (S) アルト (メゾソプラノを含む) (A) テノール (T) バス (バリトンを含む) (B)	第1回	〔課題選択曲〕 志願者は、出願時に、次の頁に記載する課題選択曲の中から下記により合計8曲を選択し、提出すること。 A. 日本歌曲 4曲 B. 外国曲 4曲 (外国曲<イタリア, ドイツ, フランス>のグループに関係なく自由に選択して良い。) 志願者の提出した8曲の中から、本学が4曲 (A.から2曲, B.から2曲)を試験当日に指定する。志願者は、その4曲の中から2曲 (A.から1曲, B.から1曲)を選び、暗譜で演奏する。
		第2回	〔自由曲〕 あらかじめ出願時に提出した任意の声楽曲1曲を暗譜で演奏する。ただし、第1回の課題選択曲として選択し、提出した曲を第2回の自由曲として選ぶことはできない。(従って、次の頁に記載された曲であっても、課題選択曲として選択しなかった曲を自由曲として選んで良い。)
		第3回	(1) F.Wüllner : Chorübungen I (全訳)。(抜粋及び省略本は不可)の中から試験の際指定する。 (2) 新曲視唱 簡単な旋律の視唱 (出題曲は2曲。うち1曲はピアノ伴奏付) (3) 音符の音読 (4) リズム課題 (次頁に続く)

科	声 種	第 1 回 試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等
声		課題選択曲 A. 日本歌曲 - 小松 耕輔 母 - 瀧 廉太郎 秋の月 - 瀧 廉太郎 荒城の月 (第 1 節, 第 2 節) 山田耕筰編曲 - 團 伊玖磨 ひぐらし 「わがうた」 より - 中田 喜直 おやすみ 「6 つの子供の歌」 より - 中田 喜直 たんぽぽ - 成田 為三 浜辺の歌 (第 1 節, 第 2 節) - 服部 正 野の羊 - 畑中 良輔 秋の空 (八木重吉による五つの歌) より - 平井康三郎 平城山 - 弘田龍太郎 浜千鳥 - 山田 耕筰 鐘が鳴ります - 山田 耕筰 かやの木山の - 山田 耕筰 この道 - 山田 耕筰 野薔薇
	ソ プ ラ ノ (S) ア ル ト (メゾソプラノを含む) (A) テ ノ ー ル (T) バ ス (バリトンを含む) (B)	B. 外国曲・イタリア - Bellini, V. Vanne, o rosa fortunata - Bellini, V. Ma rendi pur contento - Cimarosa, D. Bel nume che adoro - Donaudy, S. Vaghissima sembianza - Gasparini, F. Caro laccio, dolce nodo - Gasparini, F. Lasciar d'amarti - Pergolesi, G. Se tu m'ami - Rosa, S. Vado ben spesso cangiando loco - Sarti, G. Lungi dal caro bene - Scarlatti, A. Già il sole dal Gange - Scarlatti, A. Le violette - Scarlatti, A. Sento nel core - Tosti, F. P. Sogno - Tosti, F. P. Ideale - Vivaldi, A. Piango gemo
楽		(次頁に続く)

科	声 種	第 1 回 試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等
声	ソ プ ラ ノ (S) ア ル ト (メゾソプラノを含む) (A) テ ノ ー ル (T)	B. 外国曲・ドイツ
		16. Beethoven, L. van Ich liebe dich so wie du mich WoO 123
		17. Brahms, J. Dein blaues Auge Op.59, 8.
		18. Brahms, J. Sonntag Op.47, 3.
		19. Mendelssohn, F. Auf Flügeln des Gesanges Op.34, 2.
		20. Mozart, W. A. Das Veilchen KV 476
		21. Schubert, F. Frühlingsglaube Op.20, 2.
		22. Schubert, F. Schäfers Klagelied Op.3, 1./D 121
		23. Strauss, R. Du meines Herzens Krönelein Op.21, 2.
		24. Strauss, R. Zueignung Op.10, 1.
楽	バ ス (バリトンを含む) (B)	25. Wolf, H. Gebet Mörike-Lieder 28.
		B. 外国曲・フランス
		26. Berlioz, H. Villanelle
		27. Debussy, C. Nuit d'étoiles
		28. Duparc, H. Chanson triste
		29. Fauré, G. Claire de lune
		30. Fauré, G. Mandoline
		31. Fauré, G. Lydia
		32. Fauré, G. Les berceaux
		33. Fauré, G. Ici-bas
		34. Gounod, Ch. Sérénade (第 1 節, 第 3 節)
		35. Massenet, J. Élégie

(次頁に続く)

科

声 種

試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等

声楽科志願者に対する注意事項

1. 試験曲について

(1) 第1回課題選択曲と第2回自由曲とは同一系統でなくとも良い。例えば、第1回選択課題曲においてB.外国曲・イタリアを選んだとしても、第2回自由曲が日本歌曲であっても良い。

(2) 試験の際の演奏は、第1回、第2回とも暗譜とする。(ピアノの伴奏)

第1回A. およびB. の課題選択曲ともいずれの調で演奏しても良い。ただし、B. 外国曲の課題選択曲は原語歌詞により演奏すること。第2回自由曲は、歌曲（および一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラおよびオラトリオ等のアリアは原調で演奏すること。(ただし、オペラのアリアで慣習的に移調が認められている場合を除く。)

(3) 志願者の演奏に与えられる時間は、次のとおりである。

第1回試験 2曲合わせて4分以内

第2回試験 4分以内

試験官の指示により演奏の途中で打ち切ることがあるが、志願者の評価に不利になるものではない。

(4) 伴奏者は本学で用意する。志願者が試験時に伴奏者を同伴することは認めない。

(5) 志願者は、出願時提出する「受験曲目提出用紙」の写し(コピー)を、試験当日持参すること。

2. 楽譜について

(1) 志願者が選択した第1回課題選択曲および第2回自由曲のためのピアノ伴奏用の楽譜は、志願者が出願時に提出すること。楽譜提出後の曲目、調性等の変更は一切認めない。

(2) 提出する楽譜は、次の要領により整えること。

- ・ 楽譜の大きさは、1頁 縦30cm×横22cmまたはA4縦とする。
- ・ 楽譜には声部に加え、ピアノ伴奏部と歌詞が記載されていること。手書きの場合には、黒のペンまたはボールペンで清書すること。
- ・ 楽譜は、印刷された楽譜でも良いが、大きさが前記の大きさと異なる場合には、規定の大きさの台紙に貼り付けること。
- ・ 楽譜は、1冊に合本せず、1曲ごとに画用紙程度の厚さの表紙をつけ、必要事項を記入したうえ、「提出楽譜表紙貼付票(入学願書等提出書類に綴じ込み)」を表紙の左上隅に貼付すること。なお、表紙と同様な裏表紙を付ける必要はない。
- ・ 楽譜は、伴奏者が見やすく、めくりやすくするために折本仕立て(下図参照)にして、各頁を全開できるように製本すること。

(4頁の楽譜の場合)

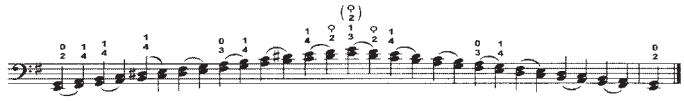
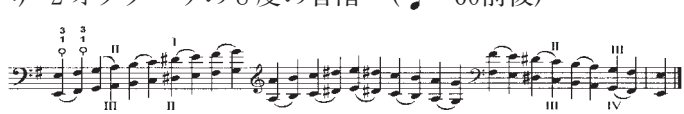
(3) 楽譜の提出に当たっては本学部所定の「音楽学部声楽科伴奏楽譜提出封筒」により、「書留速達郵便」により郵送すること。この封筒内に、提出楽譜以外の願書等を絶対に同封しないこと。同封した場合には、受験できないことがある。

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等																																																																																		
器	鍵盤 盤 楽 器	ピアノ (Pf)	第一回	a) J.S.Bach：平均律ピアノ曲集（1巻または2巻）より任意の1曲 （プレリュード及びフーガ） b) Chopin：練習曲 Op.10及び Op.25より任意の2曲を提出する。 b) については、当日各自の抽選により1曲を演奏する。 I) 演奏は、すべて暗譜とする。繰り返しは省略する。 II) 当日、時間の都合により一部省略させる事がある。 III) 曲順は、各自の自由とする。																																																																																	
			第二回	下記 a) および b) より、それぞれ選択し提出する。 a) Beethoven：ピアノソナタより任意の1曲（全楽章） b) 下記の作曲家群イ) 及びロ) からそれぞれ1曲以上を選び、イ) から10分以上、イ) 及びロ) を合わせて15分以上になるようにプログラムを組むこと。 イ) Schubert, Weber, Mendelssohn, Chopin, Schumann, Liszt, Brahms ロ) Fauré, Debussy, Ravel, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók なお、イ) の Chopin, ロ) の Debussy, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók については練習曲以外の作品を演奏すること。 c) 課題曲演奏 I) 演奏はすべて暗譜とする。 II) 8小節程度までの繰り返しは自由とする。それ以外の繰り返しは省略する。 III) b) については、ソナタ・組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めない。 IV) 演奏曲順は、c), a), b) イ, b) ロとする。 V) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。 VI) c) 課題曲は平成24年1月25日（水）16時以降に本学音楽学部教務係及び守衛所での配布のほか、本学ホームページに掲載する。																																																																																	
器	鍵盤 盤 楽 器	オルガン (Org)	専攻実技試験で使用するオルガンの仕様																																																																																		
			<table><tr><td>Pedal</td><td></td><td>13. Krummhorn</td><td>8'</td><td>26. Nasard</td><td>2%</td></tr><tr><td>1. Subbass</td><td>16'</td><td>14. Tremulant</td><td></td><td>27. Superoktav</td><td>2'</td></tr><tr><td>2. Principalbass</td><td>8'</td><td>15. I/P</td><td></td><td>28. Mixtur</td><td>4f</td></tr><tr><td>3. Rohrpommer</td><td>8'</td><td>16. II/P</td><td></td><td>29. Trompete</td><td>8'</td></tr><tr><td>4. Choralflöte</td><td>4'</td><td>17. III/P</td><td></td><td>(III) Schwellwerk</td><td></td></tr><tr><td>5. Piffaro</td><td>2f</td><td>18. III/I</td><td></td><td>30. Rohrflöte</td><td>8'</td></tr><tr><td>6. Dulcian</td><td>16'</td><td>19. I/II</td><td></td><td>31. Salicional</td><td>8'</td></tr><tr><td>(I) Brustwerk</td><td></td><td>20. III/II</td><td></td><td>32. Vox coelestis</td><td>8'</td></tr><tr><td>7. Holzgedackt</td><td>8'</td><td>(II) Hauptwerk</td><td></td><td>33. Principal</td><td>4'</td></tr><tr><td>8. Spillpfeife</td><td>4'</td><td>21. Quintade</td><td>16'</td><td>34. Blockflöte</td><td>2'</td></tr><tr><td>9. Principal</td><td>2'</td><td>22. Principal</td><td>8'</td><td>35. Sesquialtera</td><td>2f</td></tr><tr><td>10. Terz</td><td>1%</td><td>23. Gemshorn</td><td>8'</td><td>36. Scharff</td><td>3f</td></tr><tr><td>11. Oktav</td><td>1'</td><td>24. Oktav</td><td>4'</td><td>37. Hautbois</td><td>8'</td></tr><tr><td>12. Cymbel</td><td>3f</td><td>25. Holztraverse</td><td>4'</td><td>38. Tremulant</td><td></td></tr></table> [演奏補助装置] Handregister+2 Freie Kombinationen, Zungen ab, Mixtur ab (Klais 社製)		Pedal		13. Krummhorn	8'	26. Nasard	2%	1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'	2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f	3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'	4. Choralflöte	4'	17. III/P		(III) Schwellwerk		5. Piffaro	2f	18. III/I		30. Rohrflöte	8'	6. Dulcian	16'	19. I/II		31. Salicional	8'	(I) Brustwerk		20. III/II		32. Vox coelestis	8'	7. Holzgedackt	8'	(II) Hauptwerk		33. Principal	4'	8. Spillpfeife	4'	21. Quintade	16'	34. Blockflöte	2'	9. Principal	2'	22. Principal	8'	35. Sesquialtera	2f	10. Terz	1%	23. Gemshorn	8'	36. Scharff	3f	11. Oktav	1'	24. Oktav	4'	37. Hautbois	8'	12. Cymbel	3f	25. Holztraverse
Pedal		13. Krummhorn	8'	26. Nasard	2%																																																																																
1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'																																																																																
2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f																																																																																
3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'																																																																																
4. Choralflöte	4'	17. III/P		(III) Schwellwerk																																																																																	
5. Piffaro	2f	18. III/I		30. Rohrflöte	8'																																																																																
6. Dulcian	16'	19. I/II		31. Salicional	8'																																																																																
(I) Brustwerk		20. III/II		32. Vox coelestis	8'																																																																																
7. Holzgedackt	8'	(II) Hauptwerk		33. Principal	4'																																																																																
8. Spillpfeife	4'	21. Quintade	16'	34. Blockflöte	2'																																																																																
9. Principal	2'	22. Principal	8'	35. Sesquialtera	2f																																																																																
10. Terz	1%	23. Gemshorn	8'	36. Scharff	3f																																																																																
11. Oktav	1'	24. Oktav	4'	37. Hautbois	8'																																																																																
12. Cymbel	3f	25. Holztraverse	4'	38. Tremulant																																																																																	
器	鍵盤 盤 楽 器	オルガン (Org)	第一回	(1) J. S. Bach “Orgelbüchlein”より次の曲から当日指定する。 BWV601, BWV603, BWV608, BWV609, BWV611, BWV615, BWV616, BWV618, BWV623, BWV628, BWV630, BWV633, BWV636, BWV641, BWV643 (2) D.Buxtehude：Praeludium in g BuxWV 148																																																																																	
			第二回	(3) F.Mendelssohn-Bartholdy：Sonate IV op.65/4 1, 2, 4 楽章 (4) J.S.Bach：Praeludium et Fuga C BWV 547 (注1) (2)の D.Buxtehude：Praeludium in g BuxWV 148 は暗譜演奏とする。 (注2) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。 (注3) 各課題曲のレジストレーションについては、レジスタータイムに標準的な物を大学側が示すので、適宜参考にしてもよい。																																																																																	

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器	弦	ヴァイオリン (Vn)	第一回	(A) 音階 Carl Flesch : Scale system より ハ短調 (c-moll) 演奏範囲は下記の通りである。 第5番全部。 第6, 7, 8, 9番は冒頭の4小節のみ。 第10番は全部。 ※すべてレガートとし、リズムやスラーはハ長調 (C-dur) に準ずる。 なお、重音のスラーはすべて2拍ずつのスラーとする。 フィンガリングは自由とする。 (B) Paganini 24 Caprices Op.1より No.9 (注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の出版社は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。
	楽		第二回	(A) J.S.Bach 無伴奏パルティータ No.3ホ長調 (E-dur) BWV1006より Loure ※繰り返しは無しとする。 (B) Prokofiev Violin concerto No.1ニ長調 (D-dur) Op.19より 第1楽章 (注) すべて暗譜とし、協奏曲はピアノ伴奏付きで演奏すること。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 使用する楽譜の出版社は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器 楽	ヴァイオラ (Va)	(A) 音階 ト長調(G-dur)で、次のイ、ロ、ハ、ニの各種を指定されたスラーで演奏すること。(Carl Flesch : Scale System <Carl Fischer 版>による。) (イ)  (ロ)  (ハ)  (ニ)  ※フィンガリングは自由とする。 (B) Palaschko 20 Studies Op.36より 第2番 (C) Campagnoli : 41 Caprices Op.22 より 第3番 (注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の出版社は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)(C)の順とする。 (次頁に続く)
		第一回

専攻 (声種・楽器等)		試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等	
器 弦	ヴ ィ オ ラ (Va)	第二回	(A) J.S.Bach：無伴奏チェロ組曲第3番 BWV1009（ヴィオラ用に編曲された版）より Courante ※繰り返しは無しとする。 (B) C.Stamitz Viola concreto No.1ニ長調（D-dur）より 第1楽章（カデンツァ付き） ※ Henle 版を使用し、カデンツァはCadenza A を演奏すること。 (注) すべて暗譜とし、協奏曲はピアノ伴奏付きで演奏すること。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は(A)(B)の順とする。
楽 楽			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器 弦	チェロ (Vc)	第一回	(A) 音階 ホ短調(e-moll)で、次のイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘの各種を指定されたスラーと指使いで演奏すること。 (J.Loeb の Gammes et arpèges～Billaudot 版による。) イ) 4 オクターヴの音階 (♩=100前後) (注)指使いは自由  ロ) 4 オクターヴの分散 3 度 (♩=100前後)  ハ) 4 オクターヴのアルペッジョ (注)速度は自由  ニ) 2 オクターヴの 3 度の音階 (♩=60前後)  ホ) 2 オクターヴの 6 度の音階 (♩=60前後)  ヘ) 2 オクターヴの 8 度の音階 (♩=60前後)  (B) Duport の練習曲 (Peters 版または IMC 版を使用すること) より、第12番 E-dur (初めから第120小節目まで) (注) すべて暗譜とし、繰り返しなしとする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 (IMC 版とは International Music Company の略である。) (次頁に続く)

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器 楽	弦	チ ェ (Vc) 口	第二回	(A) J.S.Bach : 6 Solo Suites より第3番 (BWV1009) より「Cour-ante」を演奏する。 繰返しはなしとする。 (B) J.Haydn : Concerto C-dur より 第2楽章 (初めから第88小節まで) 及び 第3楽章 (初めから第157小節まで) を演奏する。 (注) すべて暗譜とし、ピアノ伴奏付きで演奏すること。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 使用する楽譜の出版社は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。
	楽			

専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲等	
器 弦	コ ン ト ラ バ ス (Cb)	第 一 回	(A) 音階 変ロ長調 (B-dur) (♩=52~60) 
			※フィンガリングは自由とする。
楽 楽			(B) Progressive Etüden für Kontrabass (Doblinger 版 Otto Rühm 編を使用すること) Heft 1より Nr.16 Allegro con moto (次頁に続く)

※コントラバスの楽譜の版について
指定された楽譜の版で入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡してください。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器 弦	コ ン ト ラ バ ス (Cb)	第一回	(C) F.Simandl NEW METHOD FOR THE DOUBLE BASS BOOK II Revised by F.Zimmermann (Carl Fischer 版を使用すること) より20頁 Etude II. Allegro non troppo  (注) ノーマルチューニングで演奏すること。 すべて暗譜とする。フィンガリングは自由とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 楽器の貸与はしない。
		第二回	Franz Anton Hoffmeister Concerto No.1 (Hofmeister 版を使用すること) 第2楽章56小節まで 第3楽章155小節まで (注) すべて暗譜とする。フィンガリングは自由とする。 ノーマルチューニング (IIは G-dur, IIIは C-dur) で演奏すること。 ピアノ伴奏付きで演奏すること。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない) 試験当日のノーマルチューニングに移調した伴奏譜は本学で用意する。 伴奏の前奏部分の省略は当日指定する。 時間の都合により一部を省略させることがある。 楽器の貸与はしない。
楽 楽			

訂正について

平成23年10月13日 (木) より配布している「平成24年度東京芸術大学音楽学部・大学別科入学選抜試験試験内容及び課題曲」(冊子)のコントラバスの頁で一部に誤りがありましたので、以下の通り訂正します。

コントラバス

(第一回)
(A) 音階 変ロ長調 (B-dur) (♩=52~60) 上から1段目, 8段目及び9段目

(誤)

1段目 

8段目 

9段目 

(第一回)
(A) 音階 変ロ長調 (B-dur) (♩=52~60) 上から1段目, 8段目及び9段目

(正)

1段目 

8段目 

9段目 

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器楽	弦	ハ ー プ (Hp)	第一回 (A) N.Ch.Bochsa Célèbres Etudes Pour La Harpe ：Cinquante (50) Etudes －第2巻より39番 (B) Scarlatti：Pastorale H.Renié=Les Classiques De La Harpe － 第10巻より (C) M.Tournier：Sonatine pour Harpe －第1楽章 (注) 楽譜の版は特に指定しない。 すべて暗譜とし、繰り返しなしとする。 時間の都合により一部を省略させることがある。
			第二回 (A) J.S.Bach Pièce en Sol <Transcribed by H.Renié> (B) L.Spohr Variations op.36, Sur l'air, <Je suis dans mon Prinremp> (注) 楽譜の版は特に指定しない。 すべて暗譜とし、繰り返しなしとする。 時間の都合により一部を省略させることがある。

科	専攻 (声種・楽器等)		試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等		
器	管	◎木管楽器共通注意事項 ※出版社の指定のないもの以外は，何版にても可。			
		第1回 (1) 音階 全ての調の中より当日指定する。 ※クラリネットは各調，次の音型（主和音）も演奏する。 (例) 			

科			専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器	管	木	クラリネット (Cl)	第一回	(1) E.Cavallini : 30 Capricci No.25～28の4曲 (Ricordi 版) (2) A.Uhl : 48 Etüden für Klarinette No. 1～5の5曲 (Schott 版) (3) C.Stamitz : Klarinetten-Konzert Nr.3 B-Dur (何版にても可) より第1楽章, 第2楽章 (1)(2)(3)とも演奏箇所は当日指定する。
				第二回	(1) C.M.v. Weber : Konzert Nr.1 f-moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ベールマンのカデンツァを含む) (2) a) U.Delécluse : 14 Grandés Etudes pour la Clarinette sur des motifs d'œuvres classiques et modernes (Leduc 版) より第3, 6, 8, 9, 14番の中より任意の曲を1曲 b) A.Uhl : 48 Etüden für Klarinette (Schott 版) より No.12 c) G.Donizetti : Studie 最初から101小節目まで d) G.Jacob : Five Pieces for solo clarinet より 2. Waltz と 5. Scherzo and Trio a) ～ d) の中から, ひとつを選んで演奏すること。
			ファゴット (Fg)	第一回	J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol.II (何版にても可) No.1～No.21の中から当日指定する。
				第二回	(1) K.Stamitz : Konzert F-Dur für Fagott und Orchester 第1楽章 (Sikorski 版) カデンツァあり (2) J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol.II (何版にても可) No.22～No.43より任意の1曲を演奏すること。
楽	楽	管	サクソフォーン (Sx)	第一回	(1) Marcel Mule : 48 Etudes d'après Ferling augmentées de 12 Etudes nouvelles en diverses tonalités より No.4, 5, 17, 18, 19, 22, 29, 30, 31, 40の中から当日指定する。 (2) Raymond Gallois Montbrun : Six Pièces musicales d'étude (Leduc 版) より 1. Ballade, 2. Finale ※上記数字は曲番号ではなく, 演奏する曲順になります。
				第二回	(1) A.Glazounov et A.Petiot : Concerto en mi bémol (Leduc 版) より練習番号1から16までを演奏すること。 (2) a) Paul Bonneau : Caprice en forme de Valse (Leduc 版) b) Paul Creston : Sonata 第3楽章 (Shawnee 版) c) Alfred Désenclos : Prélude, Cadence et Finale より Prélude, Cadence (Leduc 版) d) Pierre-Max Dubois : Concerto 第1楽章 (Leduc 版) e) Ida Gotkovsky : Variations Pathétiques 第1楽章 (Billaudot 版) f) Jacques Ibert : Concertino da Camera 第2楽章 [28] Animato molto から終わりまで (Leduc 版) g) Paule Maurice : Tableaux de Provence 第5楽章 (Lemoine 版) h) Jeanine Rueff : Sonate 第1楽章 (Leduc 版) i) Pierre Sancan : Lamento et Rondo (Durand 版) a) ～ i) の中から, ひとつを選んで演奏すること。 (3) 初見視奏

訂正について

平成23年10月13日(木)より配布している「平成24年度東京芸術大学音楽学部・大学別科入学者選抜試験試験内容及び課題曲」(冊子)のクラリネットの頁で一部に誤りがありましたので, 以下の通り訂正します。

クラリネット

(誤) (第一回)
(2) A.Uhl : 40 Etüden für Klarinette No. 1～5の5曲 (Schott 版)



(正) (第一回)
(2) A.Uhl : 48 Etüden für Klarinette No. 1～5の5曲 (Schott 版)

平成23年10月13日(木)より配布している「平成24年度東京芸術大学音楽学部・大学別科入学者選抜試験試験内容及び課題曲」(冊子)のサクソフォーンの頁で, 以下の通り補足説明します。

サクソフォーン

(第二回)
(2) Raymond Gallois Montbrun : Six Pièces musicales d'étude (Leduc 版) より 1. Ballade, 2. Finale
※上記数字は曲番号ではなく, 演奏する曲順になります。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等		
器	管	◎金管楽器共通注意事項 ※出版社の指定のないもの以外は、何版にても可。 第1回 (1) 音階 全ての調の中より当日指定する。但し、下記のリズムパターンで演奏すること。  (例：トランペット) (2) 課題曲 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 ただし、暗譜を指定されたもの以外は、当日、試験場に用意された楽譜を使用すること。 第2回 (1) 課題曲 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 課題曲には、ピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は、本学において用意する。		
		打	金 ホルン (Hr)	第一回 (A) Ph.Farkas : The Art of French Horn Playing (Summy-Birchard 版)p.58～p.59, 又は、フレンチホルン演奏技法 (全音楽譜出版社版) p.62～p.63 1～11段の中より当日指定する。 (B) C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for French Horn, Book I (Carl Fischer 版) No.9, 12, 13, 15, 19, 22, 25の中より当日指定する。 (C) Maxime-Alphonse : Deux Cents Etudes Nouvelles (Leduc 版)第2巻 No.5, 19, 24, 27, 28, 36の中より当日指定する。
				第二回 W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.4 Es-Dur K.495 第1楽章(第132小節目まで) 第2楽章(全部) 第3楽章(第99小節目まで) ※ Tutti 部分は演奏しない。
			トランペット (Tp)	第一回 Théo Charlier : Trente-six Etudes Transcendantes pour Trompette Cornet à Pistons ou Bugle Si b Nouvelle édition (Leduc 版) No.1, 2の中より当日指定する。
				第二回 Georges Hüe : 1er Solo de Cornet à Pistons (Leduc 版) (注) 使用楽器は任意とする。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等		
器	管	金	◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン共通課題 E.Remington/Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music 版) より下記の部分	
			 7th.position まで演奏の事	
			テナー・トロンボーン (TTb)	第一回 (A) M.Bléger : 10 Caprices for Trombone (International 版または Leduc 版) より, 当日指定する。 (B) C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) コブラッシュ : 60のエチュード (トロンボーン) No.9, 10, 15, 19, 25, 27, 30より, 当日指定する。 (C) J.Rochut : Melodious Etudes for Trombone Book (1) (Carl Fisher 版) No.16, 27, 41より, 当日指定する。
				第二回 F.David : Concertino for Trombone and Piano (Zimmermann 版) より第1楽章, 第2楽章 (カンデンツァあり) (注) 暗譜とする。
			バス・トロンボーン (BTb)	第一回 (A) C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) コブラッシュ : 60のエチュード (トロンボーン) No.8, 13, 20, 21, 25, 26, 28, 36, 39, 43, 44, 46, 48, 50, 59より当日指定する。 1 オクターブ下げずに記譜通り演奏すること。 (B) J.Rochut : Melodious Etudes for Trombone Book (1) (Carl Fischer 版) No.16, 27, 41より, 当日指定する。1 オクターブ下で演奏すること。
				第二回 E.Ewazen : Concerto for Tuba or Bass Trombone 第1楽章 (ITA Southern 版) (注) 暗譜とする。
			ユーフォニアム (Euph)	第一回 C.Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) コブラッシュ : 60のエチュード (トロンボーン) No.6~No.34より, 当日指定する。 第二回 P.V.De la Nux : Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (注) 暗譜とする。
			チューバ (Tu)	第一回 C.Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Hoffmeister 版) No.6~No.33の中より, 当日指定する。
				第二回 A.Lebedjew : Konzert für Tuba und Klavier (Konzert Nr.1) (Leipzig, Friedrich Hoffmeister 版) (注) 暗譜とする。 ※第1回, 第2回とも, C管かB♭管を使用すること。

専攻 (声種・楽器等)		試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等	
器 管	◎打楽器共通課題		
	第1回 1. リズム感のテスト 2. 任意の打楽器を用いてリズムをとりながら日本歌曲「浜辺の歌（成田為三作曲）」を歌詞をつけて歌う。 3. 聴音 ピアノにより音を与え音名を答えさせる。		
	第2回 1. 任意の打楽器を用いて音楽表現を試みる。(楽器のセットアップを含めて2分以内) 2. 初見視奏		
	打 楽 器	打 楽 器 (Pc)	第 一 回
マリンバ (1) 音 階 下記の音型による各調の中より当日指定。 M.M. ♩ = 100~120  (2) 課題曲 J. S. Bach : Sonaten und Partiten BWV 1001-1006 Violine solo (Edition Peters 版) より Partita III~ Preludio, Loure (曲の一部を指定することもある) (3) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール			
打 楽 器	打 楽 器 (Pc)	第 一 回	ティンパニ (1) チューニング (当日指定した音程をつくること) (2) ロール <i>ff</i> , <i>pp</i> ,  ,  等 (3) Saul Goodman : Modern Method for Timpani (Belwin-Mills 版) より p.24~p.35までの中から当日指定する。 (4) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール

(次頁に続く)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
器	管		小太鼓 (1) Anthony J.Cirone : Portraits in Rhythm (Belwin-Mills 版) No.6, 12, 20, 27, 35, 41 の中より当日指定する。 (2) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato 等, 表情をつけて) (例)  (3) 三善 晃：会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集Ⅱ) マリンバ (1) 自由曲 (2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 社版) より (p.4～p.11まで) 当日指定する。 ティンパニ (1) L. Beethoven : Concerto for Violin and Orchestra ニ長調 冒頭から 6 小節間 A. Khachaturian : Gayne Ballet suite 1 より Sabre Dance 冒頭より 27 小節間 (注) いずれもオーケストラパートを歌いながらティンパニを奏すること。 (2) 小太鼓による演奏 Collection Drum Solos (Ludwig Music 社版) p. 4 ～p.11の中から当日指定する。 (3) 鍵盤打楽器で音階 2 オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato 等, 表情をつけて) (小太鼓の(2)譜例を参照のこと) (4) 三善 晃：会話より 1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集Ⅱ)
			第二回

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等
器楽	古	◎古楽共通注意事項 ① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ（W.ダウド製作 a'=415, 8'8'4", FF-f''）のみとする。 ② バロックヴァイオリン、リコーダーに必要な伴奏者は同伴すること。 ③ すべての受験生は、受験曲目提出用紙に選択して演奏する作品名を書いて、出願とともに教務係に提出すること。 ④ 各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ、出願とともに教務係に送付すること。ただし、チェンバロ出願者は、Scarlatti と組曲のみ用意すればよい。なお、所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。このとき、声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。	
		チェンバロ (Cemb)	I. 下記の課題曲を演奏する。 (当日一部省略を指示することがある。繰り返しはすべて省略) ① J.S.Bach : Das wohltemperierte Klavier a) 第1巻より Präludium und Fuge f-moll Nr.12 BWV857 b) 第2巻より Präludium und Fuge D-Dur Nr.5 BWV874 ② D.Scarlatti のソナタ K.1～30より、任意の2曲 ③ J.J.Froberger, または Louis Couperin の組曲の中から Allemande, Courante, Sarabande, Gigue を1曲ずつ選んで演奏する。 (ただし同一の組曲から選ぶこと。) II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)
		バロックヴァイオリン (BVn)	I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。) ① D.Castello, G.B.Fontana, G.P.Cima 又は同時代のイタリアの作曲家の作品から1曲 ② F.Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) Composition から1曲 または、J.S.Bach : Solo Sonata No.1 BWV 1001 第4楽章 Presto ③ G.Ph.Telemann : Methodische Sonaten 第1巻 (1728) 第1番～第6番のうち1曲、または J-M.Leclair のソナタより任意の1曲 II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)
楽		リコーダー (Rec)	I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。) ① Jacob van Eyck「笛の楽園」より任意の1曲 (ソプラノリコーダーを使用。ピッチは自由) ② J-M.Hotteterre : Suite 第4番 Sonate (Oeuvre Cinquième 1715) 全楽章 (バロックタイプのトレブルを使用。ニ短調に移調して演奏。ピッチは a'=415) ③ F.Barsanti : 作品1 (1724年) より任意のソナタ1曲、全楽章 (バロックタイプのトレブルを使用。ピッチは a'=415) II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
指揮		第一回	(1) 聴音 (a)単旋律及び複旋律（ピアノによる） (b)受験者に楽譜を与え，試験委員の行う演奏との相違点を指摘させ，聴覚的判断力，和声感覚の能力を試験する。 (2) 新曲初見視唱 (3) 課題曲 L.v.Beethoven：‘Egmont’ Ouverture op.84 当日，部分を指定して指揮させる。（ピアノによる）
		第二回	(1) 課題曲 Serenata Nr.13 ‘Eine kleine Nachtmusik’ K.525 全楽章の中より当日，部分を指定して指揮させる。（弦楽合奏による） (2) ピアノによる簡易なスコア初見視奏 (3) 器楽試験：弦楽器（ハープを含む），管打楽器又はピアノのいずれかにより任意の曲を演奏させる。 (4) 適性検査（ハーモニー感，リズム感等） (5) 音楽一般に関する試問 (注)(1) 第二回の(3)器楽試験においては，弦楽器及び管打楽器の種類選択は任意とし，楽譜視奏も差し支えないが，すべて無伴奏とする。 (2) 前号の器楽試験をピアノで受ける場合も，副科実技等の副科ピアノ試験は，別に受けなければならない。

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲等																
◎邦楽共通注意事項																			
受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲および自由曲を暗譜で演奏すること。 ただし、長唄・常磐津・清元の各志願者は、唄本（歌詞のみ）を用いてよい。																			
邦楽	三味線音楽	長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄津元 常磐津元	第一回	<table><tr><th colspan="2">課題曲</th></tr><tr><th>志願部門</th><th>課題曲</th></tr><tr><td>長唄三味線 長唄</td><td>秋色種（十世杵屋六左衛門 作曲） 多摩川（五世杵屋勘五郎 作曲）</td></tr><tr><td>常磐津三味線 常磐津</td><td>千代の友鶴（五世岸澤式佐 作曲） 廓八景（五世岸澤式佐 作曲）</td></tr><tr><td>清元三味線 清元</td><td>子守（初世清元斎兵衛 作曲） 雁金（二世清元梅吉 作曲）</td></tr><tr><td>邦楽囃子(小鼓) " (大鼓) " (太鼓) " (笛)</td><td>鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲） 老松（四世杵屋六三郎 作曲） 越後獅子（九世杵屋六左衛門 作曲）</td></tr></table> 当日、この曲の中より試験官の指定する曲とその箇所を演奏すること。	課題曲		志願部門	課題曲	長唄三味線 長唄	秋色種（十世杵屋六左衛門 作曲） 多摩川（五世杵屋勘五郎 作曲）	常磐津三味線 常磐津	千代の友鶴（五世岸澤式佐 作曲） 廓八景（五世岸澤式佐 作曲）	清元三味線 清元	子守（初世清元斎兵衛 作曲） 雁金（二世清元梅吉 作曲）	邦楽囃子(小鼓) " (大鼓) " (太鼓) " (笛)	鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲） 老松（四世杵屋六三郎 作曲） 越後獅子（九世杵屋六左衛門 作曲）			
		課題曲																	
志願部門	課題曲																		
長唄三味線 長唄	秋色種（十世杵屋六左衛門 作曲） 多摩川（五世杵屋勘五郎 作曲）																		
常磐津三味線 常磐津	千代の友鶴（五世岸澤式佐 作曲） 廓八景（五世岸澤式佐 作曲）																		
清元三味線 清元	子守（初世清元斎兵衛 作曲） 雁金（二世清元梅吉 作曲）																		
邦楽囃子(小鼓) " (大鼓) " (太鼓) " (笛)	鶴亀（十世杵屋六左衛門 作曲） 老松（四世杵屋六三郎 作曲） 越後獅子（九世杵屋六左衛門 作曲）																		
邦楽	邦楽囃子	第二回	A. 自由曲1曲 明治45年（西暦1912年）以前に作曲された曲で、第1回課題曲を除いたものを選ぶこと。 時間を要する曲で、上・下又は上・中・下に分かれているものは、それぞれ各1曲とする。 B. 志願部門の課題曲より、下記区分に従い1曲を選ぶこと。 <table><tr><th>志願部門</th><th>選択分野</th></tr><tr><td>長唄三味線</td><td>長唄</td></tr><tr><td>常磐津三味線</td><td>常磐津</td></tr><tr><td>清元三味線</td><td>清元</td></tr><tr><td>長唄</td><td>長唄三味線</td></tr><tr><td>常磐津</td><td>常磐津三味線</td></tr><tr><td>清元</td><td>清元三味線</td></tr><tr><td>邦楽囃子</td><td>長唄三味線又は長唄</td></tr></table>	志願部門	選択分野	長唄三味線	長唄	常磐津三味線	常磐津	清元三味線	清元	長唄	長唄三味線	常磐津	常磐津三味線	清元	清元三味線	邦楽囃子	長唄三味線又は長唄
志願部門	選択分野																		
長唄三味線	長唄																		
常磐津三味線	常磐津																		
清元三味線	清元																		
長唄	長唄三味線																		
常磐津	常磐津三味線																		
清元	清元三味線																		
邦楽囃子	長唄三味線又は長唄																		
邦楽	(注) 1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみをひかせ、唄・浄瑠璃は係員が担当する。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。 2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。 3. 上記1.及び2.にかかわらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。 4. 三味線及び邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長唄三味線は本学で用意した楽器を使用することもできる。(曲目提出用紙に持参・借用の区別を明記すること。) 5. 邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。 6. 唄、浄瑠璃の試験に関しては扇子を持参すること。 7. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問を行うことがある。 8. 邦楽囃子第二回Bにおいては、譜面使用可とする。																		

科	専攻 (声種・楽器等)	試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等									
邦楽	日 本 舞 踊	第一回	課題曲 2 曲 男形 長 唄「老 松」 女形 長 唄「藤 娘」(潮来出島) 本学で用意した録音テープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。 (注) 音源はコロンビア版、芳村伊十郎長唄全集による録音テープを使用する。								
		第二回	A. 自由曲 1 曲 課題曲を除いた曲を選ぶ。 当日録音テープを持参、提出し、試験官の指定する箇所を踊る。 B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。 C. 本学で用意した音を聴いて、その場で振りをつける。								
		(注) 第一回、二回とも小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。									
	箏 曲	山 田 流	第一回	箏：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 <table><tr><td>『白 の 聲』</td><td>三世山登松齡 作曲</td></tr><tr><td>『近江八景』</td><td>山登萬和 作曲</td></tr><tr><td>『乱 輪 舌』</td><td>八橋検校 作曲</td></tr></table>		『白 の 聲』	三世山登松齡 作曲	『近江八景』	山登萬和 作曲	『乱 輪 舌』	八橋検校 作曲
			『白 の 聲』	三世山登松齡 作曲							
		『近江八景』	山登萬和 作曲								
		『乱 輪 舌』	八橋検校 作曲								
		第二回	箏：自由曲 1 曲 ※第 1 回受験曲を除いた古典・近代・現代曲 (第 1 回で受験した曲を除き、課題曲としてあげられている曲を選択できる。) ※別科を併願する場合は、別科課題曲を除く。 三絃：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 <table><tr><td>『秋の七草』</td><td>文部省音楽取調掛 作曲</td></tr><tr><td>『子の日の遊』</td><td>二世山木太賀 作曲</td></tr></table>		『秋の七草』	文部省音楽取調掛 作曲	『子の日の遊』	二世山木太賀 作曲			
『秋の七草』	文部省音楽取調掛 作曲										
『子の日の遊』	二世山木太賀 作曲										
生 田 流	第一回	箏：課題曲 1 曲 下記の中から 2 曲を選択し、試験当日そのうちの 1 曲を受験者が抽選により決定する。 《楫 枕》 菊岡検校 作曲・八重崎検校 箏手付 一は壺越(D) 《さ む し ろ》 在原勾当 作曲 一は神仙(C) 《新 浮 舟》 松浦検校 作曲・八重崎検校 箏手付 一は壺越(D) 《新 娘 道 成 寺》 石川勾当 (菊岡検校) 作曲・宮原検校 箏手付 一は神仙(C)									
	第二回	箏：自由曲 1 曲 1909 (明治42) 年以降に作曲、又は手付けされた曲。 ただし、楽章単位ではなく 1 曲単位で受験すること。 三絃：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 《秋 の 初 風》 宮城道雄 作曲 I の糸は壺越(D) 《み だ れ》 八橋検校 作曲 I の糸は壺越(D) 《末 の 契 り》 松浦検校 作曲 I の糸は壺越(D) (次頁に続く)									

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
邦楽	箏曲	(箏曲共通注意事項) 1. 第一回・第二回試験とも暗譜で演奏する。 2. 演奏は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は座奏でも立奏（椅子）でもよい。 3. 演奏箇所は試験の際に指示する。 4. 本手・替手（高音・低音）のあるものは、どちらかを受験曲目提出用紙に明記すること。 5. 邦楽一般及び箏曲について簡単な試問を行うことがある。 (山田流試験に関する注意事項) 1. 第二回試験（箏）は、曲名、作曲者名を受験曲目提出用紙の所定欄に明記すること。 2. 原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏・三絃の使用も可能。なお、受験曲目提出用紙の所定欄に持参・借用の別を記入すること。 (生田流試験に関する注意事項) 1. 箏は本学で用意する（18番絹糸）。 2. 三絃は各自持参を原則とするが、本学で用意した楽器を使用することもできる。（願書に、持参・借用の区別を明記すること。） 3. 演奏中の糸切れは減点の対象とはしない。	
	尺八	第一回	選択曲 1 曲 下記のうちから 1 曲を選んで演奏する。 琴古流『三谷菅垣』『雲井獅子』 都山流『紅葉』『朝風』（流祖 中尾都山 作曲） ア．五孔尺八の一尺八寸管（竹製）を用いること。
		第二回	課題曲 1 曲 尺八本曲 琴古流『一二三鉢返調』 都山流『木枯』（流祖 中尾都山 作曲） 選択曲 2 曲 ①外曲古典 下記のうちから 1 曲を選んで演奏する。 『都の春』『白の声』『夕顔』『茶湯音頭』 ②外曲新曲 下記のうちから 1 曲を選んで演奏する。 『赤壁の賦』（中能島欣一 作曲） 『春の訪れ』（宮城道雄 作曲） ※②外曲新曲については、五孔の一尺六寸管（竹製）を用いること。 ※琴古流の『赤壁の賦』は、邦楽社刊箏譜『赤壁の賦』（中能島欣一著）に掲載の尺八譜による。 ア．五孔尺八の一尺八寸管（竹製）を用いること（選択曲②は除く） イ．演奏箇所は、試験の際に指示する。 ウ．演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 エ．邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。
		(注) 1. 尺八受験者は出願の際、琴古流・都山流のいずれかを選択し、出願すること。 2. 全曲暗譜とする。	

科	専攻 (声種・楽器等)	試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等		
邦	能 (囃子を除く)	第一回	(イ) シテ方（観世流及び宝生流） (A)謡曲「紅葉狩」サシより中入まで、及び 「鶉飼」待謡より終わりまで (B)仕舞「田村」キリ (ロ) ワキ方（下掛宝生流） (A)謡曲「紅葉狩」サシより中入、及び 「鶉飼」待謡より終わりまで (B)仕舞「春栄」 (ハ) 狂言方（和泉流） (A)謡曲「風車」及び「柳の下」 (B)小舞「花の袖」 ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。	
			第二回	謡曲及び仕舞又は小舞自由曲1曲ずつ（ただし、第1回および別科の課題曲を除く。）謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。謡曲の謡う部分については、当日指定する。
			(注)1. 第一回、第二回とも観世流、宝生流、下掛宝生流、和泉流のいずれかで受験すること。 2. 能楽について簡単な試問を行うことがある。 3. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。	
楽	能 楽 囃 子	第一回	囃子 下記(イ)～(ニ)より受験する楽器及び課題曲をひとつ選択。 (イ) 笛 (一噌流) 「早舞」三段 (ロ) 小鼓 (幸 流) 「天鼓」キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「屋島」キリ (ニ) 太鼓 (観世流) 「山姥」キリ	
		第二回	囃子 自由曲（ただし、第1回及び別科の課題曲を除く。） 謡曲 下記の中から1曲を自由選択。（ただし観世流、または宝生流のいずれかで受験すること。） (イ)「紅葉狩」サシより中入まで (ロ)「鶉飼」 待謡より終わりまで (ハ)「竹生島」クセ上げより「下界の龍神現れたり」まで (注)1. 上記の曲を一噌流、幸流、高安流、観世流（太鼓）のいずれかで受験すること。 2. 笛、小鼓、太鼓の試験に際しては、各自持参の楽器を使用してもよい。ただし、大鼓については、楽器を使用しない。 3. 地謡の流儀は観世流、または宝生流のいずれかを選ぶこと。 4. 能楽について簡単な試問を行うことがある。 5. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。	

科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲等	
邦楽	雅楽	笙 		

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
音楽環境創造		第一回	学力検査〔音楽（音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）〕（60分）
		第二回	小論文および面接（自己表現を含む） ●小論文（120分） ●面接（20分）自己表現を含む。 ○自己表現 下記の1～3のいずれかを選択し（受験票に記入）、制限時間内（5分）で行うこと。 1. 演奏（声を含む） ※ 音楽能力・音楽的感性をアピールしたい場合 2. パフォーマンス（身体表現、舞踊、朗読等） ※ 身体表現能力・演劇的感性をアピールしたい場合 3. プレゼンテーション （パネルやチャート図等によるプランの提示、楽譜等の作品、研究計画書等） ※ 演奏技術・身体技能よりも、企画・アイデアをアピールしたい場合 （自己表現の注意事項） ・1人でできるもの（伴奏者・共演者は認めない） ・セッティングを含めて5分以内で終了すること。 ・ピアノは用意されている。それ以外の楽器は各自持参すること。 ・AV機器（CD・オーディオカセット・DVD・VHSビデオ）は用意されている。 ・コンピュータを持参して使用することは可能だが、機器についてのサポートは一切与えられないので、全て自己責任にて用意すること。 ・「2. パフォーマンス」を行う試験場の床は一般的なフローリングである。床を傷つけないような演目、靴、衣装であること。 （パフォーマンスで使用できる広さは、幅約8m×奥行き約6m。天井の高さは約2m30cm。）

●音楽環境創造科受験者の志望理由書の提出について

音楽環境創造科志願者は、志望理由書（800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと）を願書とともに提出すること。志望理由書は面接時の参考とする。

イ．音楽に関する基礎能力検査及び副科実技等

① 音楽に関する基礎能力検査

1．筆記試験

a) 聴音書き取り（試験時間：約30分）

単旋律（2題）

複旋律（1題）

2音間の音程を聴き分ける問題（5題）

四声体和声（1題）

作曲科，声楽科，器楽科及び楽理科志願者に課する。
(41～42ページの例題程度のもの。)

b) 楽典（試験時間1時間）

音楽環境創造科を除く全科の志願者に課す。和声・楽式論等作曲法の内容は含まない。

2．実技試験

a) 新曲視唱

歌詞を伴わない初見唱。作曲科，声楽科，器楽科及び楽理科志願者に課す。

(43～44ページの例題程度のもの)

○作曲科，器楽科及び楽理科の志願者……………無伴奏の旋律1題

○声楽科の志願者……………無伴奏の旋律1題，伴奏付き旋律1題

b) 音符の音読 1題

作曲科，声楽科，器楽科及び楽理科志願者に課す。(45ページの例題程度のもの)

c) リズム課題 1題

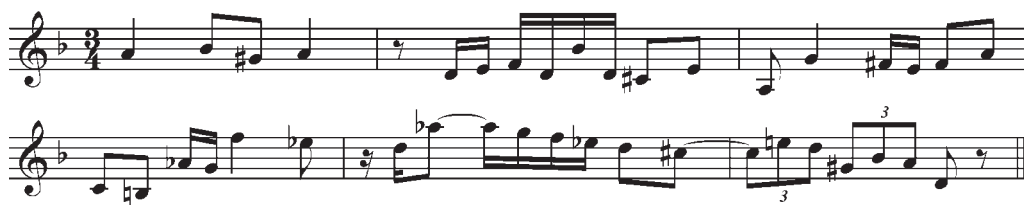
作曲科，声楽科，器楽科及び楽理科志願者に課す。(46ページの例題程度のもの)

聴音書き取り例題

単旋律 1)



単旋律 2)



(次頁に続く)

聴音書き取り例題（続き）

複旋律



2 音間の音程を聴き分ける問題

次の 2 音を聴き、その音程を答えなさい。

1)	2)	3)	4)	5)
解答例	完全5度	長3度	短6度	長7度
				増4度、又は減5度

四声体和声



新 曲 視 唱 例 題

●無伴奏の旋律（作曲科，器楽科，楽理科志願者）



●無伴奏の旋律（声楽科志願者）



（次頁に続く）

新 曲 視 唱 例 題 (続 き)

● 伴奏付き旋律 (声楽科志願者)

Andante quasi allegretto (♩=88 ca.) espress.

7 mf cresc. molto

13 f allarg. a piacere

18 p smorz.

pp

音 符 の 音 読 例 題

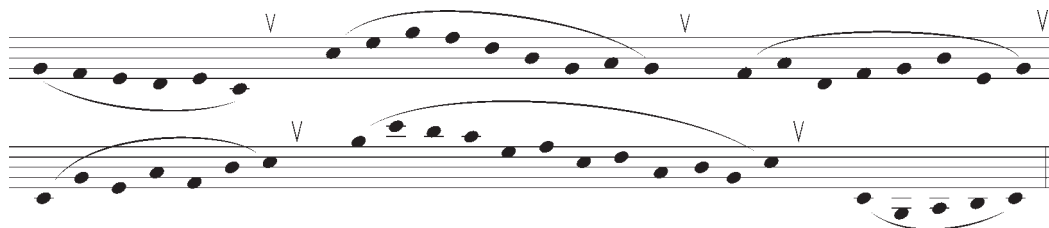
五線譜上に記した音符を，下記の音部譜表の内から一つ選んで音読しなさい。

ト音記号（ト音譜表）

ヘ音記号（バス譜表・バリトン譜表）

ハ音記号（アルト譜表・ソプラノ譜表・メゾソプラノ譜表・テノール譜表）

●作曲科，器楽科，楽理科志願者



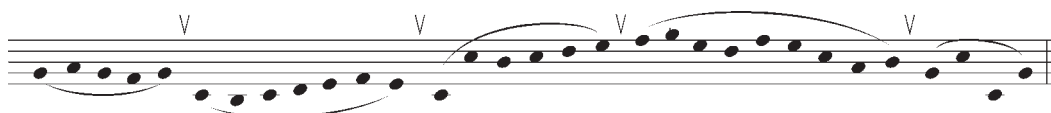
選択する音部譜表の例と音読の例

ト音記号（ト音譜表）・・・・・・・・ソファミレミド，

ヘ音記号（バス譜表）・・・・・・・・シラソファソミ，

ハ音記号（テノール譜表）・・・・・・・・ファミレドレシ，

●声楽科志願者



選択する音部譜表の例と音読の例

ト音記号（ト音譜表）・・・・・・・・ソラソファソ，

ヘ音記号（バス譜表）・・・・・・・・シドシラシ，

ハ音記号（アルト譜表）・・・・・・・・ラシラソラ，

リ ズ ム 課 題 例 題

手で拍子を振りながら*, リズム音形を「ラ」等のシラブルで発音し, リズムを表出しなさい。

*拍ごとに手を上から下へ振り下ろす, あるいは手で拍子を振り分ける

●作曲科, 器楽科, 楽理科志願者



●声楽科志願者



② 副科実技等

1. 副科ピアノ

受 験 者 区 分		試 験 内 容 及 び 課 題 曲 等	
作 曲 科 器 楽 科 (オルガンのみ) 指 揮 科 楽 理 科 (ピアノでの志願者)		次の(イ), (ロ), (ハ)から1つ選択すること。	
		(イ) J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 平均律ピアノ曲集第1巻, 第2巻より任意の1曲 (Praeludium 及び Fuga の両方を準備する事。)	
		(ロ) L.v.Beethoven : Klaviersonaten	} の中から1曲を選び, その第1楽章
		Op. 2 No.1, 2, 3	
		Op. 7	
	Op.10 No.1, 2, 3		
	Op.13		
	Op.14 No. 1, 2		
	Op.22		
		(ハ) F.Chopin : 練習曲集 Op.10, 25より任意の1曲	
		(注) いずれも暗譜とする。繰り返しなし。	
声 楽 科 器 楽 科 (弦楽, 管打楽)		(1) 音階 : Hanon No.39の中から当日指定する。	
		同一調号による長調と短調	
		但し速度を ♩ = 100程度以上とする。	
		(注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後, 続けて旋律的短音階を1回弾き, 終止形をつけて終わる。	
		(2) 下記のソナチネ, ソナタより1曲を選び, その第1楽章。	
	Kuhlau	: Op.20 No.1, 2, 3	Op.55 No.1, 2, 3
	Clementi	: Op.36 No.2, 3, 4, 5, 6	
	Haydn	: Hob.XVI/35 (C-dur)	
	Mozart	: KV 545 (C-dur)	
	Beethoven	: Op.49 No.1, 2	
	Dusseck	: Op.20 No.1	
		(注) (1), (2)とも暗譜とする。繰り返しなし。	

2. ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）

受 験 者 区 分	試 験 内 容 及 び 課 題 曲 等
楽理科は、ピアノ以外の 右記の楽器等により副科 実技を受験することがで きる。	オルガン・チェンバロ・弦楽器・管楽器・打楽器・邦楽器（三味線・箏・尺八・邦楽囃子・能楽囃子・雅楽） ただし、弦楽器・管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽科弦楽器・管楽器の志願者が出願できる楽器に限る。 試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である。 ヴァイオリン課題曲 W. A. Mozart : Violin Concerto No.3 in G major, K.216 より 第1楽章, Allegro (注) Cadenza を除く。暗譜とし、伴奏なし。 邦楽課題曲 ・三味線 「小鍛冶」（二世杵屋勝五郎作曲） ・箏曲（山田流） 「秋の七草」（音楽取調掛作） ・箏曲（生田流） 「春の曲」（吉沢検校作曲）一＝壺越(D) ・尺八（琴古流・都山流）共通 「六段の調」（八橋検校作曲） ・邦楽囃子 「五郎時致」（三升屋二三治作詞，十代目杵屋六左衛門作曲） (注) 四拍子の中より一つを選択する。 ・能楽囃子 笛 「中ノ舞」 小鼓「羽衣 クセ」 大鼓「羽衣 クセ」 太鼓「鶴亀 キリ」 ・雅楽 平調「越天楽」 (注) 管楽器の中より一つを選択する。 ※上記いずれかの楽器で受験した場合は、副科ピアノを受験する必要はない。

3. ピアノ新曲

受 験 者 区 分	試 験 内 容 及 び 課 題 曲 等
作 曲 科	初見奏

4. 和声

受 験 者 区 分	試 験 内 容 及 び 課 題 曲 等
指 揮 科 科	指揮科及び楽理科志願者のみに課する。試験時間1時間30分。与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作る。指揮科課題・楽理科課題とも近親転調を含む。

ウ. 面接

作曲科、邦楽科及び音楽環境創造科の各志願者に対して面接を行い、声楽科、器楽科、指揮科及び楽理科の各志願者に対しては、面接を行わない。

音楽環境創造科の面接には、「自己表現」を含む。(39頁参照)

エ. その他

音楽環境創造科の志願者は、「志望理由書」(800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと)を願書とともに提出しなければならない。「志望理由書」は、面接時の参考とする。

10. 合格者発表

1. 中間合格者発表 入学試験実施日程表(別表2)の各専攻の当該日です。音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。合格者の発表は、受験番号により行います。なお、来学する場合は**本学部受験票及び大学入試センター試験受験票**を必ず持参してください。

2. 最終合格者発表 平成24年3月13日(火)13時から15時まで音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。電話・電子メール等による問い合わせには、一切応じません。

なお、最終合格者には、以下のどちらかの方法により入学手続書類を受け取ってください。

- ① 合格者発表と同時に入学手続きに関する書類を13時から16時まで交付します。
本学部の「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」(私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」)を必ず持参して、受け取ってください。(代理人可)
- ② 16時までに取りに来なかった場合、出願時に提出した宛名ラベルシールに記載されている住所へ、3月13日中に大学から合格者へ入学手続書類を発送します。その場合、合格発表時に指示する方法で、3月15日17時までに、入学意思があることを、大学に連絡してください。入学手続方法については入学手続書類を確認してください。

本学ホームページ(<http://www.geidai.ac.jp/index.html>)でも合格者の受験番号を掲載します。(中間発表においては、掲示された日程等も併せて掲載します。)

入学試験実施日程表に示してある中間及び最終合格者発表の日時のそれぞれ1時間後に掲載する予定です。(中間発表：各発表日17時頃、最終発表：3月13日14時頃)

※時間未定となっている中間発表についても、掲示発表1時間後に掲載します。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

3. 追加合格者について 入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合、3月28日から3月31日までの間に追加合格者を決定する場合がありますので、この期間本学部から連絡がとれるようにしてください。なお、この発表は本学部から当該者に対して電話連絡等により行い、受験者からの問い合わせには一切応じません。

11. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は、次により行います。詳細は、最終合格者発表の際、案内を交付します。なお、入学手続の際、**大学入試センター試験受験票（再発行を受けた者は、再発行されたもの。私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」）**を必ず持参してください。

1. 入学手続期間 平成24年3月14日(水)及び3月15日(木)

3月14日(水) 10:00～16:00 (12:00～14:00を除く)

3月15日(木) 10:00～17:00 (12:00～14:00を除く)

2. 場 所 東京芸術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

3. 納 付 金 (1) 入 学 料……………282,000円 (予定額)

(2) 授 業 料 (前期分) ……267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

(注)1. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時からの新授業料が適用されます。

2. 前期分または年額 (前期および後期分) のいずれかで納付することができます。

3. 4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、4月末日までにお支払いください。

*参考までに、入学者には上記納付金の他に次のような経費が必要となります。

○音楽教育振興会費……………60,000円

(音楽教育振興会：音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会)

○学生教育研究災害傷害保険料 (4年間) … 3,300円

○同声会会費 (同窓会費) ……60,000円

4. 提 出 書 類 誓 約 書……………1通 (所定用紙を交付します。)

卒業証明書……………1通 (平成24年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ)

写 真……………3枚 (脱帽・上半身・正面向き。サイズは、縦4cm×横3cm)

そ の 他……………合格者発表時通知します。

5. 留 意 事 項

(1) 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱います。

(2) 他の国公立大学・学部の入学手続をした者は、これを取消して本学部の入学手続をすることはできません。

(3) 本学部の入学手続をした者は、これを取消して他の国公立大学・学部の入学手続をすることはできません。

12. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の納入前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続きを行ってください。

(納入後の各種申請は出来ないので注意してください。なお、入学料免除については申請要件を満たしても免除されとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料納入の準備は事前に十分に行っておいてください。)

免除・猶予の申請要件は次のとおりです。

1. 入学料免除

- (1) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- (2) (1)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

2. 入学料徴収猶予

- (1) 経済的理由により入学料の納付期限までに入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

3. 授業料免除

- (1) 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

4. 授業料徴収猶予

- (1) 経済的理由により授業料の納付期限までに納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合

なお、上記申請要件に不明の点がある場合は、学生支援課（TEL 050-5525-2069）に照会してください。

13. 入学手続に係る郵送による受付の開始について

本学では、平成24年度入学試験から最終合格者に係る入学手続において、従来より要望のありました郵送による受付を開始いたします。また、従来どおり直接来学による入学手続についても平行して行います。郵送による入学手続書類の到着期限は3月19日（月）です。

II 別科

1. 出願資格 — 音楽学部と同様です。

2. 修業年限 — 2年

3. 出願手続

1. 願書受付期間

平成24年1月23日(月)～2月1日(水)

郵送による出願とし、上記の期間内消印有効とします。

(注) 入学願書を直接大学に持参したもの、又は郵便局の消印が上記期間外のものは受理しないので注意してください。

2. 検定料

1. 金額：9,800円

2. 振込期間：平成24年1月4日(水)～平成24年2月1日(水)

3. 振込方法及び提出書類

下記の(ア)、(イ)のいずれかの方法により振込んでください。

(ア) コンビニエンスストアでのお振込み

- ・7頁の説明を参照の上、振込手続きを行ってください。
- ・コンビニエンスストアで振り込んだ際に受け取る〈取扱明細書兼領収書〉の「収納証明書」の部分を取り切り、「入学試験検定料振込金受付証明提出用紙」に貼付して提出してください。
- ・コンビニエンスストア内のATMによる振込は受け付けません。必ず指定の端末にて手続きを行ってください。

取扱明細書兼領収書

収納
印

収入
印紙

東京芸術大学 収納証明書
検定料収納額 9,800円
氏名：○○○○
電話：***-****-****

⑤

入学試験検定料振込金
受付証明書提出用紙

C票

入学試験検定料
振込金受付証明書

この用紙に収納証明
書を貼り付ける

コンビニエンスストアで振込した際に受け取る〈取扱明細書兼領収書〉の収納証明書の部分を切り取り、**別科用**「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付する。

(次頁に続く)

- (イ) 金融機関窓口でのお振込み
- ・この要項に添付してある「振込依頼書 (A・B・C票)」を使用してください。
 - ・取扱金融機関は下記の通りです。
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合等
(ゆうちょ銀行 (郵便局), 金融公庫では振り込めないのでご注意ください)
 - ・振込時には別途手数料が必要です。
(三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料は無料になります)
 - ・金融機関ATM (現金自動預け払い機) による振込は受け付けません。
 - ・振込後に返却されるB・C票のうち、C票について切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付して提出してください。
- 「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」(金融機関窓口での振込の場合)

A票 振込依頼書 (「東京芸術大学」入学試験検定料)				B票 振込金受取書 (「東京芸術大学」入学試験検定料)		C票 「東京芸術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書			
金融機関取扱期間									
ご依頼日 平成 年 月 日		志望専攻名 電 信 扱				専攻			
三井住友 銀行 東京公務部		金額				金額		氏名	
普通 151793		¥9,800				¥9,800			
トウキョウゲイジュンダイカフ 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口				収納印 (取扱金融機関保管)		収納印 (大学提出用)			
整理番号		志望者氏名							
住所・電話番号									
				収納印 (志願者保管)					

入学試験検定料振込金
受付証明書提出用紙

C票

入学試験検定料
振込金受付証明書

この用紙にC票を貼り
付ける

振込をした際、返却されたB・C票のうち、C票について切り離し、志望学科・氏名を記入のうえ、**別科用**「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」に貼付する。

4. その他注意事項
国費外国人留学生は納入不要です。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を提出してください。
5. 返還について
次の(ア)～(ウ)の場合を除き、いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。
- (ア) 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった (願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった) 場合
- (イ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (ウ) 受験票発行後、大学入試センター試験において本学部が指定する教科・科目を受験していない等の失格要件が判明し、失格となった場合
- 返還金額は、(ア)と(イ)については全額とし、(ウ)については13,000円とします。
- 該当する場合の返還請求の方法は下記の通りです。
- 便せん等を使用し、下記の①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「収納証明書」または「C票」を添付して、東京芸術大学会計課経理係 (郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8) まで郵送してください。
- ①氏名、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由、⑦振込先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義 (カタカナ)・口座番号
- ※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額になります。
- ※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付してください。

3. 提出書類

- (1) 別科志願者の提出書類は、学部志願者提出書類(①～②, ④～⑧)(8～9頁参照)に関しては、学部志願者と同様ですので、同頁記載の注意事項参照のうえ必要書類を整えて提出してください。
 - 入学願書等については、別科所定のものを使用してください。
 - 「検定料振込依頼書」(A・B・C票)及び「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙」については、別科所定のものを使用してください。
 - 調査書は出身高等学校長が作成したものを提出してください。また、婚姻等により調査書記載の姓と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。
 - 別科志願者には、大学入試センター試験を課していませんので、「大学入試センター試験成績請求票」の提出は不要です。
- (2) 声楽専修志願者は、学部「声楽科志願者に対する注意事項」(16頁)を参照してください。
- (3) 学部と併願受験する場合は、(56頁参照)それぞれ検定料を納入し、提出書類も別に作成し、学部、別科別々の封筒で提出しなければなりません。

声楽専修用の伴奏楽譜を提出する際、学部用の「伴奏楽譜送付用封筒」を使用してはいけません。**任意の封筒に朱書で「別科声楽専修伴奏楽譜」と表書きしたもの**を使用し、別科入学願書と別便で、同時に**速達書留**で郵送してください。
- (4) 声楽専修・オルガン・コントラバス・ハープ・打楽器・古楽の各志願者は、「自由曲目提出用紙」を提出してください。
- (5) ピアノ志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。
- (6) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元及び邦楽囃子の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。
- (7) 箏曲(山田流)・箏曲(生田流)・尺八の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。
- (8) 能楽・能楽囃子の各志願者は、「曲目提出用紙」を提出してください。

4. 受験票

所定の様式を使用してください。

- (注)1. 邦楽専修の長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元は三味線音楽として、通し番号で受験番号をふります。
2. 受験票が2月17日までに到着しないときは、音楽学部教務係へ連絡のうえ、2月22日までに書留郵便受領書をもって申し出てください。〔音楽学部教務係 電話050-5525-2309〕

5. 試験場

東京芸術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

4. 専修部門及び募集人員

専 修		募 集 人 員
声	楽	30 名
器 楽	ピ ア ノ	
	オ ル ガ ン	
	弦 楽 器	
	管 打 楽 器	
	古 楽	
邦	楽	

(注)1. 別科への出願は、志願する専修1つに限ります。

- ① 声楽専修志願者は、次の中から1声種を選んで出願してください。
ソプラノ・アルト（メゾソプラノを含む）・テノール・バス（バリトンを含む）
- ② 弦楽器及び管打楽器志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願してください。
（弦楽） ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，ハープ
（管打楽） フルート，オーボエ，クラリネット，ファゴット，サクソフォーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，打楽器
- ③ 古楽志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願してください。
バロック声楽，バロックヴァイオリン，バロックチェロ，リコーダー，チェンバロ，バロックオルガン，フォルテピアノ
- ④ 邦楽専修志願者は、次の中から1種を選択し、出願してください。
長唄三味線，常磐津三味線，清元三味線，長唄，常磐津，清元，邦楽囃子，箏曲（山田流），箏曲（生田流），尺八，能楽，能楽囃子

2. 別科と音楽学部の特願受験について

別科と音楽学部の併願受験について、以下のとおり取り扱います。

- ① 併願を認める専修
別科の声楽専修・器楽（管打楽器）専修及び邦楽専修の各志願者にあつては、それぞれ音楽学部声楽科・器楽科（管打楽器専攻）及び邦楽科と併願受験できます。
- ② 併願を禁止する専修
別科の器楽（ピアノ，オルガン，弦楽器，古楽）専修の各志願者は、それぞれ音楽学部の各学科・専攻を併願受験することはできません。これらについては、志願する別科の専修と音楽学部の学科・専攻が異なる場合でも併願受験はできません。

3. 本大学及び他大学との二重学籍は認めないので、出願時に十分考慮してください。

5. 試験内容及び試験曲等

別科入学試験は、本表「試験内容及び試験曲等」に記載された内容についてのみ行います。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等
声楽	ソプラノ(S) アルト(A) (メゾソプラノを含む) テノール(T) バス(B) (バリトンを含む)	自由曲1曲を演奏する。(オペラ、オラトリオのアリアは原調。) 暗譜のこと。 (注) 1. 伴奏楽譜は各自提出しなければならない。 2. 演奏する曲は学部声楽科課題曲と同じものでも差しつかえない。 3. 演奏時間は4分以内とする。 4. 伴奏者は本学で用意する。
器楽	ピアノ (Pf)	次の11曲から1曲を選択し、その第1楽章を演奏すること。 ベートーヴェン：ピアノソナタ ・第2番 イ長調 作品2-2 ・第3番 ハ長調 作品2-3 ・第4番 変ホ長調 作品7 ・第7番 ニ長調 作品10-3 ・第11番 変ロ長調 作品22 ・第16番 ト長調 作品31-1 ・第17番 ニ短調 作品31-2 ・第18番 変ホ長調 作品31-3 ・第22番 ヘ長調 作品54 ・第24番 嬰ヘ長調 作品78 ・第27番 ホ短調 作品90 I) 演奏は暗譜とする。 II) 時間の都合で演奏を一部省略させることがある。
	オルガン (Org)	自由曲 (注) 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。当日、時間の都合により一部省略させることがある。
	ヴァイオリン (Vn)	W.A.Mozart：Violin Concerto No.4 D-dur 第1楽章 ヨアヒムのCadenzaを使用のこと。 (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	ヴィオラ (Va)	(A) C.Stamitz：Viola Concerto No.1ニ長調 (D-dur) より第1楽章 (Cadenzaを含む。) (B) F.A.Hoffmeister：Viola Concerto ニ長調 (D-dur) より第1楽章 (Cadenzaを含む。) (注) いずれも Henle 版を使用し、Cadenza はAを演奏すること。 時間の場合により一部を省略させることがある。 (A)(B)どちらかを選択し演奏する。
	チェロ (Vc)	次のうち、任意の1曲を選んで演奏すること。 (A) L.Boccherini：Concerto B-dur 第1楽章 (Grützmacher 編) Cadenza は除く。 (B) J.Haydn：Concerto C-dur 第1楽章 (楽譜は何版を使ってもよい) Cadenza は除く。 (C) C.Saint-Saëns：Concerto a-moll Op.33 第1楽章 (D) E.Lalo：Concerto d-moll 第1楽章 (初めから117小節 Lento まで) (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	コントラバス (Cb)	自由曲 (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
音楽	ハープ (Hp)	自由曲 (注) 暗譜とする。場合により一部を省略させることがある。

専修		声 種 ・ 楽 器 等	試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等
器 古 楽 楽		◎古楽共通注意事項 ① ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ（W.ダウド製作 a'=415, 8'8'4', FF-f''）のみとする。 ② 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。 ③ フォルテピアノは、18世紀末のウィーン式モデル（a'=430, 音域 FF-g'''）である。 ④ 必要な伴奏者は同伴すること。ただし、オブリガートパートが必要な場合は、すべてチェンバロで代用すること。 ⑤ すべての受験生は、受験曲目提出用紙に演奏する自由曲の作品名を書いて、出願とともに提出すること。 ⑥ 各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ、出願とともに教務係に送付すること。なお、所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきれない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「別科古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。このとき、学部声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。	
		バロック声楽 (BV)	5分程度の自由曲
		バロックヴァイオリン (BVn)	5分程度の自由曲
		バロックチェロ (BVc)	5分程度の自由曲
		リコーダー (Rec)	5分程度の自由曲
		チェンバロ (Cemb)	5分程度の自由曲
		バロックオルガン (BOrg)	5分程度の自由曲
		フォルテピアノ (Fp)	5分程度の自由曲

【予告】

平成25年度入試より、古楽科別科入試にて面接を課すこととする。

専修

邦

楽

声種・楽器等

試験内容及び試験曲等

◎邦楽共通注意事項

受験者は、志願する専修部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。
ただし、長唄・常磐津・清元の志願者は唄本（歌詞のみ）を用いてもよい。

長唄三味線
常磐津三味線
清元三味線
長唄
常磐津
清元
邦楽囃子（笛含む）

●専修部門課題曲

専修部門	課 題 曲
長唄三味線	「土蜘蛛」（上・切禿）（大薩摩絃太夫 作曲）
常磐津三味線	「三保の松」（六世岸澤式佐 作曲）
清元三味線	「申酉」（初世清元斎兵衛 作曲）
長唄	「土蜘蛛」（上・切禿）（大薩摩絃太夫 作曲）
常磐津	「三保の松」（六世岸澤式佐 作曲）
清元	「申酉」（初世清元斎兵衛 作曲）
邦楽囃子 （笛含む）	「鶴 亀」（十世杵屋六左右衛門 作曲） 「外記猿」（十世杵屋六左右衛門 作曲）

●専修部門以外の実技試験は、下記区分に従い自由曲1曲を選び、曲目提出用紙の所定欄に記入すること。ただし、暗譜の有無は問わない。

専修部門	専修部門以外の実技試験
長唄三味線	長唄自由曲
常磐津三味線	常磐津自由曲
清元三味線	清元自由曲
長唄	長唄三味線自由曲
常磐津	常磐津三味線自由曲
清元	清元三味線自由曲
邦楽囃子	長唄三味線又は長唄自由曲

1. 三味線の試験においては、受験者には三味線のみをひかせ、唄・浄瑠璃は係員が担当する。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。

2. 邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。

3. 三味線及び邦楽囃子の楽器は、各自持参を原則とするが、長唄三味線は、本学で用意した楽器を使用することもできる。（曲目提出用紙に、持参・借用の区別を明記すること。）ただし、邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管および4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。

4. 邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問を行うことがある。

専修	声 種 ・ 楽 器 等	試 験 内 容 及 び 試 験 曲 等		
邦 				

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲等
邦楽	尺八	(1) 課題曲 1 曲 「末の契」 松浦検校作曲 「近江八景」 山登萬和作曲 「甲 乙」 山本邦山作曲 以上の 3 曲のうち 1 曲を選択。 (2) 本曲 1 曲（曲目は自由）
		(注) 1. 流派は問わない。 2. 全曲暗譜とする。 3. 五孔尺八の一尺八寸管（竹製）を用いること。 4. 演奏箇所は試験の際に指示する。 5. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。 6. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。
	能 (囃子を除く)	シテ方（観世流及び宝生流） 謡曲 「網之段」（桜川） 仕舞 「岩船」 ワキ方（下掛宝生流） 謡曲 「網之段」（桜川） 仕舞 「蟻通」 狂言方（和泉流） 謡曲 「大原木」 小舞 「海道下り」
		(注) 受験者は着物，袴，白足袋着用のこと。
邦楽	能 楽 囃 子	下記の中から 1 つを自由選択 (イ) 笛 (一噌流) 「男舞」(三段) (ロ) 小鼓 (幸流) 「経正 (政)」キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「敦盛」クセ (ニ) 太鼓 (観世流) 「杜若」キリ (昔男のヨリ)
		(注) 1. 笛以外の楽器は、地謡の流儀（観世流，宝生流のいずれか）を受験曲目提出用紙に記入すること。 2. 受験者は着物，袴，白足袋着用のこと。

6. 入学試験

1. 試験は、平成24年3月7日(水)及び3月8日(木)に音楽学部で行います。専修別詳細日程は、「入学試験実施日程表」(別表2)参照してください。

(注) 平成24年3月6日(火)16時以降、試験日程(集合時刻・試験時刻)を音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表しますので、志願者自身が見て確認してください。(試験日時・試験曲等を間違えた場合は失格(不合格)となります。)

2. 受験の際は、本要項表紙裏面記載の「受験上の注意事項」にも留意してください。

7. 合格者発表

平成24年3月13日(火)13時から15時まで音楽学部構内に掲示及び本学ホームページで発表します。最終合格者には、以下のどちらかの方法により入学手続き書類を受け取ってください。

- ① 合格者発表と同時に入学手続きに関する書類を13時から16時まで交付します。本学部の「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」(私費外国人留学生は「日本留学試験受験票」)を必ず持参して、受け取ってください。(代理人可)
- ② 16時までに取りに来なかった場合、出願時に提出した宛名ラベルシールに記載されている住所へ、3月13日中に大学から合格者へ入学手続き書類を発送します。その場合、合格発表時に指示する方法で、3月15日17時までに、入学意思があることを、大学に連絡してください。入学手続き方法については入学手続き書類を確認してください。

本学ホームページ (<http://www.geidai.ac.jp/index.html>) でも合格者の受験番号を掲載します。

入学試験実施日程表に示してある最終合格者発表の日時の1時間後(3月13日14時頃)に掲載する予定です。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

8. 入学手続等について

最終合格者の入学手続は、次により行います。詳細は、最終合格者発表の際、案内を交付します。

1. 入学手続期間 平成24年3月14日(水)及び3月15日(木)

3月14日(水) 10:00~16:00 (12:00~14:00を除く)

3月15日(木) 10:00~17:00 (12:00~14:00を除く)

2. 場 所 東京芸術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

3. 納 付 金 (1) 入 学 料…………… 84,600円 (予定額)

(2) 授 業 料 (前期分) ……267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

(注)1. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時からの新授業料が適用されます。

2. 前期分または年額(前期および後期分)のいずれかで納付することができます。

3. 4月中旬に保証人宛に郵送される振込依頼書により、4月末日までにお支払いください。

*参考までに、入学者には上記納付金の他に次のような経費が必要となります。

○音楽教育振興会費……………60,000円

(音楽教育振興会：音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会)

○学生教育研究災害傷害保険料(4年間)… 1,750円

○同声会会費(同窓会費)……………60,000円

4. 提出書類 誓約書……………1通（所定用紙を交付します。）
卒業証明書……………1通（平成24年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込で受験した者のみ）
写真……………2枚（脱帽・上半身・正面向き。サイズは、縦4cm×横3cm）
その他……………合格者発表時通知します。
5. 留意事項 本学部が定めた入学手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱います。

9. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について、— 音楽学部と同様です。

10. 入学手続に係る郵送による受付の開始について — 音楽学部と同様です。

IV 平成24年度 音楽学部・別科入学試験実施日程表

注1. この日程表は、出願状況によって変更することがあるので、本人が表中の日程掲示日時に来学又は本学ホームページで確認すること。
注2. 日程等掲示を確認する際は、平日は20時まで、土日は17時までに来学すること。
注3. 表中の※は、楽理科志願者に課されている副科実技を、ピアノ以外の楽器で受験する者の副科実技試験日を示す。
注4. 試験日を間違えた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。

(別表2)

学科 日程	作 曲 科	声 楽 科	器 楽 科					指 揮 科	邦 楽 科	楽 理 科	音楽環境創造科	受 験 生 集 合 場 所
			ピアノ	オルガン	弦楽器	管打楽器	古 楽					
24年2月 24日(金)	音楽学部入学試験実施についての日程（集合時刻，試験時刻）および注意事項等を16時以降学内掲示及び本学ホームページで発表する。（必ず受験者本人が確認すること。） なお，別科試験実施についての日程（集合時間，試験時刻）および注意事項等は， 3月6日(火)16時以降学内掲示及び本学ホームページで発表する。											
25日(土)	作曲第1回 9：30～12：30和声(B) 14：00～17：00和声(S)	声乐第1回 10：00～	ピアノ第1回 10：00～		弦楽第1回 10：00～	管打楽第1回 10：00～		指揮第1回 (実技)16：00～	邦楽第1回 三味線音楽・邦楽囃子 9：30～ 日本舞踊 13：00～ 雅楽 15：30～		音楽環境創造 第1回（学力検査） 10：00～11：00	5 1 0 9 室 (大講義室)
26日(日)	作曲第1次合格者発表 および日程等発表 (15：00予定)	声乐第1回 10：00～	ピアノ第1回 10：00～		弦楽第1回 10：00～	管打楽第1回 10：00～		指揮第1次合格者発表 および日程等発表 (15：00予定) 指揮第2回(実技) 16：00～	邦楽第1回 箏曲山田流 12：00～ 箏曲生田流 12：00～ 尺八 10：00～			
27日(月)	作曲第2回 対位法的楽曲 12：00～17：00	声乐第1次合格者発表 および日程等発表 (時間未定)	ピアノ第1回 10：00～	オルガン試奏日 10：00～	弦楽第1回 10：00～	管打楽第1回 10：00～			邦楽第1回 能楽・能楽囃子 10：00～	楽理第1回 (国 語) 10：00～12：00 (外国語) 13：30～15：30	音楽環境創造第1次合格者 発表及び日程等発表 (時間未定)	
28日(火)			ピアノ第1次合格者 発表および日程等発表 (時間未定)									
29日(水)		声乐第2回 10：00～		オルガン第1回 10：30～		管打楽第1回 10：00～					音楽環境創造 第2回（小論文） 10：00～12：00	
3月 1日(木)	作曲第2次合格者発表 および日程等発表 16：00以降	声乐第2回 10：00～		第1次合格者発表(声乐科・ピアノ・古楽・音楽環境創造科を除く全科。作曲科・指揮は第2次合格者発表。) および日程等発表(声乐科・ピアノ・古楽・音楽環境創造科を除く全科)16：00以降								
2日(金)												
3日(土)	作曲第3回 自由作曲 9：30～18：30		ピアノ第2回 10：00～	オルガン第2回 14：00～	弦楽第2回 10：00～	管打楽第2回 10：00～	古楽第1回 10：00～		邦楽第2回 三味線音楽・邦楽囃子 9：30～ 日本舞踊 13：00～ 雅楽 15：30～	※弦楽器 ※管打楽器 ※オルガン ※チェンバロ ※三味線音楽 ※邦楽囃子 ※雅楽	音楽環境創造 第2回（面接） 10：00～	
4日(日)		声乐第2次合格者発表 および日程等発表	ピアノ第2回 10：00～		弦楽第2回 10：00～	管打楽第2回 10：00～				※弦楽器 ※管打楽器	音楽環境創造 第2回（面接） 10：00～	
5日(月)		声乐第3回 10：00～	ピアノ第2回 10：00～		弦楽第2回 10：00～	管打楽第2回 10：00～			邦楽第2回 尺八 10：00～ 箏曲山田流 12：00～ 箏曲生田流 12：00～ 能楽・能楽囃子 10：00～	※弦楽器 ※管打楽器 ※尺八 ※箏曲山田流 ※箏曲生田流 ※能楽囃子	音楽環境創造 第2回（面接） 10：00～	
6日(火)	第2次合格者発表（声乐科・指揮科・楽理科・音楽環境創造科を除く全科。作曲科は第3次合格者発表。古楽は第1次発表。） および日程等発表（音楽環境創造科を除く全科）16：00以降 別科入学試験実施についての日程（集合時刻，試験時刻）および注意事項等を16時以降に発表する。 (必ず受験者本人が確認すること。)							指揮第3回 (和声) 10：00～11：30		楽理第2回 (和 声) 10：00～11：30 (小論文) 13：00～15：00	音楽環境創造 第2回（面接） 10：00～	
7日(水)	聴音・楽典・新曲視唱・ 音符の音読・リズム 課題・副科ピアノ 10：00～ ピアノ新曲・面接 14：30～	聴音・楽典・副科ピアノ 10：00～	聴音・楽典 新曲視唱・ 音符の音読 リズム課題 10：00～ 別科ピアノ 10：30～	聴音・楽典・新曲視唱・音符の音読・リズム課題・副科ピアノ （〔注〕指揮科は聴音，新曲視唱，音符の音読，リズム課題を除く。 古楽は副科ピアノを除く。） 10：00～				楽 典 10：00～11：00		聴音・楽典・ 新曲視唱・ 音符の音読・ リズム課題・ 副科ピアノ 10：00～		
8日(木)		別科声乐 10：00～		別科オルガン 13：00～ (試奏は午前)	別科弦楽 10：00～	別科管打楽 10：00～	別科古楽 15：00～ (Borg 試奏は午前)		別科邦楽 10：00～	楽理第2回 (口述試問) 9：30～		
13日(火)	音楽学部・別科 最終合格者発表 13：00～15：00（合格者には，入学手続書類を交付する。）											

※本学では，追試験は実施しません。

V 個人情報の取扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並び健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生活協同組合

平成24年度東京芸術大学音楽学部入学者選抜試験 個人成績請求申込書

申込日 平成24年 月 日 ()

氏名 ふりがな _____

現住所 (〒 _____) TEL (_____)

受験した専攻 _____ 受験番号 _____

	開 示 内 容	希 望 の 有 無 (以下を記入してください。)	
①	大学入試センター試験成績【得点】	科目名記入	
	大学入試センター試験の成績を科目ごとに開示します。		
②	芸大の個別入学試験成績【順位】	○でかこむ	第1次試験
	第1, 2, 3次(作曲のみ)試験及び最終試験の各合否判定に用いた順位を開示します。ただし、各楽器等種類ごとの各合格者数が、少数(10人程度以下)の場合は開示しません。		第2次試験
			第3次試験(作曲のみ)
			最終試験
③	最終判定に影響があった試験科目	○でかこむ	希望あり
	最終次試験不合格者には、総合判定に影響のあった試験科目が特定できる場合に、その科目名を開示します。		希望なし
④	調 査 書	○でかこむ	希望あり
	「指導上参考となる諸事項」, 「参考」欄は除きます。		希望なし

- (注) 1. 募集要項12頁の「入学者選抜試験個人成績の開示について」を参照のうえ、申し込んでください。
2. この書類は、すべて受験生本人が記入してください。
3. 申込期間前, 期間後のものは、一切受け付けません。
4. 申込書受領後, 成績の送付まで約3週間かかります。

試験場（東京芸術大学音楽学部）案内図



〔交通機関〕 (J R) 山手・京浜東北線 上野駅（公園口）・鶯谷駅下車 徒歩約10分
(東京メトロ) 銀座線・日比谷線 上野駅下車徒歩約15分
千代田線 根津駅下車 徒歩約15分

東京芸術大学学生募集要項

(音楽学部・別科)

平成23年12月発行

東京芸術大学